

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		原永修作	所 属		医学部附属病院第一内科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	医師キャリア支援センターセンター員として研修医のキャリアプランをサポートする 学生講義担当として、学生の知識向上をサポートする			0.30	総合臨床研修センター(医師キャリア支援センターから)医科部門長(副センター長相当)として、研修医ローテーションや指導医セミナーの企画、開催に携わる 学生講義担当、臨床実習まとめ担当として、学生の知識向上をサポートした OSCE 臨床実習OSCE担当として、学生の達成度評価に関わった		
研究	0.20	Multiplex-PCRを用いて診断したウイルス性肺炎の臨床的検討を行い、学会発表・論文化する 沖縄県における潜在性結核感染症の検討を行い学会発表、論文化する			0.20	潜在性結核感染症の検討に関する論文作成中 プロカルシトニン高値例のレトロスペクティブ検討 大学院生(修士)の学会発表、論文作成支援 医局員の学会発表、論文作成支援		
社会 貢献	0.10	医師会主催(共催)講演会や地域向け講演会等で非専門医、患者に対して教育を行う			0.10	沖縄県医学会の研修医部門の審査員 医師会共催の呼吸器疾患関連の勉強会、研究会の企画、運営		
管理 運営	0.10	下記各種委員会で学部、病院の管理に携わる 医学教育分野別認証に向けた新カリキュラム編成委員 医療機器安全管理専門委員会 光学診療部運営委員会 診療情報管理センター			0.10	診療情報管理センター 副センター長としてカルテ監査を行う 医学教育分野別認証に向けた新カリキュラム編成委員 医療機器安全管理専門委員会 光学診療部運営委員として光学診療部の運用に携わる		
診療	0.30	週2回の外来診療にて患者を診療する 病棟にて若手医師のへ診療支援 他科からのコンサルトに積極的に対応する			0.30	週2回の外来診療にて患者を診療する 病棟にて若手医師のへ診療支援 他科からのコンサルトに積極的に対応する 呼吸ケアサポートチームの立ち上げと週1回のラウンドの継続		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		平田哲生	所 属		医学部附属病院
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.20	学部学生の講義を双方向性に近づける。 臨床実習学生に対するベッドサイドティーチングの充実。		0.10	学生講義、ベッドサイドティーチングともに不十分であった。
研究	0.20	糞線虫症に関する臨床研究の遂行。 英文誌への論文投稿1編以上行う。 学会での報告発表を1回以上行う。 科研費の獲得。		0.10	臨床研究に関しては十分遂行した。 学会、投稿、研究費の獲得については不十分であった。
社会 貢献	0.10	学外の研究会への参加・発表を行う。 他施設での講演・講義を行う。		0.05	他施設での講演を2回、研究会での講演も2回行なった。
管理 運営	0.10	病院内、学部内各種委員会への参加		0.50	多数の委員会への参加を行い、特に病院システム運用のWGリーダーとして積極的に活動を行った。
診療	0.40	附属病院における診療活動の充実		0.25	外来診療業務は十分行なったが、病棟業務、内視鏡業務は不十分であった。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		前城 達次	所 属		医学部附属病院 第一内科	職 名	特命講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.10	特に臨床実習におけるベツトサイドでの教育やadvanced OSCEに向けた講義などを中心に行う。		0.10	ほぼ目標どおりに活動できた		
研究	0.40	沖縄県の肝疾患拠点病院としてウイルス性肝疾患の、加えて沖縄県の特徴である生活習慣病関連肝疾患に関する臨床研究を行う。		0.35	生活習慣病関連肝疾患に関しては目標とする臨床研究には不十分		
社会 貢献	0.10	沖縄県の肝炎対策協議会委員及び沖縄県難病指定委員会委員として活動する		0.05	問題なく活動できた		
診療	0.40	肝臓専門医としての外来診療業務		0.50	拠点病院として各施設から紹介されてきた患者へ対応したがまだ時間的に不十分であった。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		宮城 一也	所 属		医学部 医学科 第一内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟実習において、活発に意見を述べるができる環境を作る ●可能な限り実技を見学させ、その方法や意義の理解を深める方法を構築する。またクリニカルクラークシップの学生には積極的に診療に加わられるよう配慮する ●講義において学生がより興味を持てるよう常に内容を更新する 			0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟実習において積極的に意見を述べるができるようになった。患者さんとも積極的にコミュニケーションをとる学生が多かった。 ●手技に関しても可能な限り研修医に指導し、実施させた。 ●CDを用いて呼吸音を聞きながら講義も行った。今後はシミュレーションセンターも用いた講義も企画していきたい 		
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●学会発表を積極的に行う。 ●発表したものに関して学会誌へ投稿する。 ●常に基礎研究と臨床の接点を模索する 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に学会発表を行った。また初期、後期研修医にも指導し学会発表を経験させた ●論文投稿を行うことができなかった 		
社会 貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ●学外の研究会に積極的に参加し、機会があれば市民公開講座などにも協力する 			0.10	研究会の世話人に選出していただき、研究会を盛り上げるようにした		
管理 運営	0.10	学内の運営委員会へ出席し、必要であれば積極的に意見を述べる。			0.00	●管理運営には関われなかった		
診療	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ●外来診療において可能な限り患者さんを待たすことのないようころがけ、また診療の 質も落とさないよう留意する。逆紹介も積極的に行う。 ●他院からの紹介に対し適切な検査、治療を行うことでさらに連携を深めていく ●病棟診療においてエビデンスに基づいた診療を行うことはもちろんのこと、常に患者様の不安を取り除けるよう気を配る。 			0.45	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に逆紹介を行うことで患者の数が減り、待ち時間減少、診療の質の向上を図れた。 ●病棟でも研修医を指導しながらより質の高い医療の提供を心掛け、実際に実践することができた。 ●気管支鏡検査にも力をいれ施行数を増やすことができた。 		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		池間朋己	所 属	医学部附属病院	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.20	代謝学・内分泌学・症候学の講義・試験問題作成を行う。OSCE、BPE頭頸部領域の副責任者として関わる。CBT、総合試験の試験問題作成を行う。		0.20	代謝学1コマ、内分泌学1コマ、症候学1コマの講義を行い、試験問題の作成を行った。OSCE・BPEは頭頸部領域の副責任者としてかかわった。CBT、総合試験の試験問題を作成した。	
研究	0.10	小児1型糖尿病の沖縄の現状および問題抽出を行い、問題解決を図る研究を行う。		0.00	左記研究に関しては実施できなかった。	
社会 貢献	0.05	糖尿病サマーキャンプの運営に参加する。		0.05	小児糖尿病サマーキャンプの運営に参加した。	
管理 運営	0.35	医局長として医局内の管理を行う、各委員会に出席し病院運営にかかわる。		0.35	医局長として医局会の開催、医局の管理を行った。診療委員会、保険診療ワーキンググループの委員として会議に出席した。グループカンファレンスにて、各医師へ診療上の助言を行った	
診療	0.30	外来診療・病棟診療を行う		0.40	火・水の外来診療、他科病棟患者の血糖コントロールを行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		屋比久 浩市	所 属	医学部附属病院 第二内科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	学生向け教育・指導を徹底する。研修医の指導[問診・身体所見のとり方、疾患鑑別、治療、他、(ホルモン)採血等のスキル]。大学院生や研究初心者の指導[技術的な指導の他、研究の進め方、解析方法等]を行う。		0.10	研修医の講義2コマ行った。学生の系統講義は担当を割り与えられなかった。	
研究	0.30	代謝内分泌、特に生活習慣病関連の研究および論文化を積極的に進める。研究費取得を目指す。		0.30	科研費再開に伴い、急ピッチで研究を進めている。	
社会貢献	0.20	研究結果の論文化による公表、および国内外学会での発表、講演発表、研究結果の臨床現場への還元(患者さんへの生活指導および治療)		0.30	上記の通り、急ピッチで研究を進めている。他の研究報告について新しく有益な知見が発表されれば、積極的に患者さんへの指導および治療にも適用した。	
管理運営	0.10	院内・学内の各種委員会における職責を十分に全うする。		0.00	担当を与えられなかった。	
診療	0.20	糖尿病、高血圧、脂質異常症患者の治療において、ガイドラインの数値目標に近づけるようにする。内分泌疾患患者においては、適切な検査、診断、治療法に則り診療を行う。		0.30	患者さんとのコミュニケーションはもとより、ガイドラインに則った適切な生活指導、検査、診断、治療計画を立てることができた。ただし、全ての患者さんで十分な治療目標に達したわけではなく、また、個々のコンプライアンスやアドヒアランスを考慮した診療の必要を感じている。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲村英昭	所 属		医学部附属病院 第二内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.15	学生対象の講義、初期研修医対象のレクチャーを行う。昨年度に引き続き、「甲状腺」「糖尿病診療におけるトピックス」「肥満症」をテーマとした学生対象の講義を担当する予定である。			0.15	当初の予定通りに講義を行うことができた。		
研究	0.15	現在進行中である、生活習慣病を予防・改善する沖縄県高機能米開発(難消化米プロジェクト)の遂行、および論文作成に取り組む。			0.10	目標症例数に届かず当初の計画通りに遂行できていない。取り組みを継続する。		
社会貢献	0.15	学会発表、症例報告論文の作成、および糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組む。			0.20	日本肥満学会にて筆頭者として発表を行った。また、栄養管理部の学会発表に関する指導を行った。		
管理運営	0.15	院内・学内の各種委員会における職責を全うする。昨年度に引き続き、主に病棟医長(9階西病棟)としての職務を行う予定である。			0.15	おおむね計画通りに職務を遂行することができた。		
診療	0.40	入院患者診療、および外来(週1回)の診療に取り組む。			0.40	入院患者診療、および外来(週1回)の診療に取り組んだ。入院診療では、主に後期研修医(新入局員)と初期研修医の指導にあたった。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名 前		難波 豊隆	所 属		医学部 医学科 第二内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.05	学生講義およびポリクリ学生の指導、初期研修医の進路相談を行う。		0.15	学生講義およびポリクリ学生、基礎配属学生の指導、初期研修医の指導・進路相談を行った。			
研究	0.40	大学院で研究を行う。		0.30	臨床研究を開始した。			
社会貢献	0.10	小児糖尿病サマーキャンプを運営する。		0.10	小児糖尿病サマーキャンプを運営した。			
管理運営	0.05	リスクマネージャーを担当する。		0.05	リスクマネージャーを担当した。			
診療	0.40	外来および病棟業務を行う。		0.40	外来および病棟業務を行った。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中山良朗	所 属		第二内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	学生のポリクリ、講義、研修医に丁寧にわかりやすく指導する。 楽しく仕事してる姿をみせる。			0.15	少しずつだが、講義の仕方がわかってきた。 しかし、講義内容についてはまだまだup dateが不十分。		
研究	0.30	基礎研究の一定のメドをつける。英文論文を取り組む。			0.30	基礎から臨床へ方向転換したが、新しく進んではいる。 大枠のメドはついているので、来年が勝負。		
社会貢献	0.10	学会発表、講演会、小児サマーキャンプ、糖尿病週間など積極的に 取り組む。			0.10	講演会は初めて統計についてのテーマで行い、少し自信になった。 学会発表の数はまだまだ不十分。		
管理運営	0.10	院内の各種委員会における職務を全うする。			0.10	外来医長の仕事を中心に職務を全うしたと思う。		
診療	0.30	外来患者を中心に謙虚に励む。一例一例を丁寧に診る。			0.35	外来・入院患者さんともに丁寧に診療できたと思う。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		石田 明夫	所 属	医学部 医学科	職 名	講師
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・系統講義:学生参加型、国家試験対応など、自己学習意欲を高める。Webclassを活用した双方向性の講義を実践する。 ・ベッドサイド実習:学生のみならず研修医の意欲を高めるように屋根瓦方式による実習を実践する。 ・医員の研究欲を高めるように、臨床研究を一緒に進める 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ●学生参加型講義を行い、学生の自主学習を促進し、学生によるアンケートでも好評を得た。 ●ポリクリ・クリクラ学生の最終カンファレンスを担当し、学習意欲を高めるよう指導した。 ●毎日朝夕病棟カンファレンスを行い、医員・研修医を指導した。 ●医員の研究を指導し、英文論文発表(2報)を行った。 	
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の研究成果を論文として発表する。 ・現在の研究をさらに発展させた臨床研究・疫学研究を進める。 ・フィールド研究の準備を整える。 ・国内・国際学会発表を継続し、研究資金獲得のための基盤とする。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ●国際高血圧学会でTravel Grant Awardを獲得し口頭発表を行った。 ●国際学会Pulse of Asia 2016(ソウル)で招聘講演Featured Scholar Invited Lectureを行った。 ●日本循環器学会、日本腎臓学会、日本高血圧学会など総会で口頭・ポスター発表を行った。 ●フィールド研究(パプア)を2017年3月に実施できるよう京都大学と準備調整を進めている。 	
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果を公表し、一般臨床応用を図る。 ・病診連携を進めていく。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ●市中病院で重症患者(高血圧・腎臓病)のコンサルトに対応し、病診連携を深めた。 	
管理 運営	0.10	各種委員会の委員としての役割を果たす		0.20	●医局長として他科・他院との連携を行った。	
診療	0.30	専門診療(動脈硬化、高血圧、腎臓病など)を外来・病棟で実践する		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ●外来・入院患者に対して専門診療を行った。 ●他科・他院からの紹介患者に対応し、病診連携を進めた。 	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		崎間 洋邦	所 属		第三内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	①M3, M4講義(脳血管障害), ②M5, M6のベッドサイドでの神経診察指導(脳血管障害症例中心)③医員の日本内科学会認定医取得支援・指導, ④医員の神経学会神経内科専門医の取得支援・指導, ⑤医員の日本脳卒中学会専門医取得支援・指導			0.30	①M3講義(脳血管障害、脳神経超音波検査)担当を行った。M4に対してTBL(意識障害)を行った。 ②M5、M6の神経診察指導をベッドサイドで朝夕回診時に行った。 ③④⑤資格獲得のため指導を行い、5名が内科認定医取得、2名が神経内科専門医を取得した。		
研究	0.20	①後期研修医および医員の論文、症例報告作成支援, ②おきなわ脳卒中地域連携事業のデータ解析、公表。③臨床研究を行い学会発表・論文作成を進める。			0.20	①後期研修医および医員に計5回、学会での症例発表指導を行った。 ②おきなわ脳卒中地域連携事業データ解析結果を沖縄県医学会で報告した。 ③脳神経超音波学会ワークショップにて鎖骨下動脈狭窄と頸動脈エコー所見について発表を行った。		
社会貢献	0.20	①おきなわ脳卒中地域連携事業の推進, ②臨床研究から得られた知見を広めていく。			0.20	①おきなわ脳卒中地域連携事業で県内の状況を報告し、急性期と回復期、維持期医療との連携を充実させていく必要があることを確認した。 ②学会、研究会等で得られた知見を発表した。英文学術誌の査読依頼3件に対応した。		
管理運営	0.20	①病棟医長業務, ②リスクマネージャー会議等各種会議参加。			0.20	①②病棟医長業務を滞りなく行った。		
診療	0.10	①朝夕の病棟神経グループ入院症例の回診, ②外来診療業務, 神経グループコンサルト(救急含む)対応,			0.10	①朝夕の病棟回診を滞りなく行い、神経グループ患者のマネジメントを行った。 ②コンサルト対応は若手医師と共に行った。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	池宮城 秀一		所 属	大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学		職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	臨床実習で心電図、聴診を担当し、三内科で学ぶべき循環器の基本 を取得できるように支援する。病棟実習生と初期研修医のカルテ記 載と発表能力が向上するよう支援する。		0.20	実際の症例やシュミレーターを用いて、病棟実習生が心電図、聴診の基本 を取得できるように支援した。毎日の回診で担当症例のディスカッションを 行い、初期研修医の発表能力が向上するよう支援した。		
研究	0.10	脂質とレオロジーの関係につき検討を進め、論文作成を進める。肺 高血圧と活性酸素、レオロジーなどの関係に関して検討する。		0.10	脂質とレオロジーに関する論文を作成中である。肺高血圧と活性酸素や レオロジーとの関係やアキレス腱肥厚と循環器疾患の関係についての臨 床研究を検討している。		
社会 貢献	0.10	肺高血圧症を含めた循環器疾患の知識の普及に努め、生活習慣の 修正や治療法への理解を促し、臓器障害の発症・進展予防を目指 す。		0.10	コメディカルや医療関係者に対して、循環器疾患の診療について知識を深 めてもらうために肺高血圧やワーファリンに関する講演を行った。		
管理 運営	0.10	外来医長として内科外来の運用の合理化及び円滑化に取り組み、 総合診療部の活性化も支援する。		0.10	外来医長として、総合診療部の運営に関して各部署との協議・調整を行 い、総合診療部の活性化を支援した。		
診療	0.50	循環器疾患を中心に外来診療を行い、朝夕の病棟回診を通して、入		0.50	毎日の回診で担当症例のディスカッションを行い、必要に応じて入院主治 医への助言を行い日常診療を支援した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してく ださい。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		狩俣 弘幸	所 属		医学部 消化器・腫瘍外科学講座
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.20	医学部医学科の学生に対して:画像を取り入れた視覚に訴える講義を行う。講義の理解にカギとなる図表などは学生に配布する。臨床実習でローテートしてくる学生に授業・実習の履修状況を聴取し、適切な指導を行う。卒後の進路について、学生自ら進路決定を適切に判断できるように助言を行う。		0.20	医学部医学科の学生に画像を取り入れた講義を行った。図表など講義内容をは学生に配布した。シミュレーション器材を利用して外科手技実習を指導した。
研究	0.15	他の教員と共同で、消化器外科学領域の研究成果を学会などで発表する。1編以上の論文を執筆し、発表する。		0.15	3学会で発表を行った。
社会 貢献	0.10	医療行政に関連する行事に参加し、自らの専門知識によって地域医療に貢献する。		0.10	新外科専門医制度のプログラム策定・連携を行った。
管理 運営	0.20	医学部、医学部付属病院の各種委員会に参加して管理運営に貢献する。		0.20	病院の各種委員会に参加、管理運営を行った。共同指導や診療報酬改定による対応などもあり、例年よりも多く委員会への参加・活動を行った。
診療	0.35	外来診療、入院患者の病棟管理、手術を行う。		0.35	外来診療、入院患者の病棟管理、手術を行った。また、病棟医長として病棟管理を行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		國仲 弘一	所 属		第一外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.05	研修医への講義・実技指導。医学部学生、大学院生への講義。病棟 実習生への指導・講義。		0.05	達成できた			
研究	0.10	乳がん、甲状腺疾患に関する研究。学会発表及び研究発表。		0.10	達成できた			
社会 貢献	0.05	地域での講演活動や研究会、患者会への出席。		0.05	達成できた			
管理 運営	0.05	病院運営に関する各種会議への参加。		0.05	達成できた			
診療	0.75	乳がん、甲状腺疾患の診療。		0.75	達成できた			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊禮 靖苗	所 属		医学部 医学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.15	①医学部の学生に対して、講義を担当する。②5-6年生の臨床実習においてベッドサイドまたはレクチャーでの教育指導を行う。レポート作成の指導を行う。			0.25	医学部の学生3年生に対して、講義を担当したが、内科と重複する内容が一部あり、今後修正が必要であった。5-6年生の臨床実習においてベッドサイドおよびレクチャーでの教育指導およびレポート作成の指導を行った。		
研究	0.25	①主に消化器外科についての臨床研究成果をまとめ学会発表する。②論文を執筆する。			0.35	①国際学会での発表を行った。②論文を1件執筆した。		
社会貢献	0.10	①地域の病院で総合内科および消化器外科に関する技術を用いて地域医療に貢献する。②所属する学会で積極的に発表、講演会に参加し、外科学の進歩に貢献する。			0.20	①地域の病院で診療を担当し貢献できた。②学会発表および講演会に参加し、知識を得た。		
管理運営	0.10	①医学部附属病院の各種委員会に参加し、管理運営に貢献する。			0.10	①手術材料員会に代理で参加させていただいた。		
診療	0.40	①研修医に対し、チューターとして仕事に関する日頃の悩みや、将来の進路の相談役となるよう努める。②医学部附属病院で消化器外科における手術、検査、外来、病棟管理に従事する。中でも患者さん、家族によりわかりやすい説明を行うよう努める。			0.10	①研修医に対し、チューターとして仕事に関する日頃の悩みの相談役となるよう努めたが診療時間内で接触する機会が少なかった。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1)本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		石野 信一郎	所 属		消化器・腫瘍外科学講座	職 名		助教
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウエイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	医学部学生に対して、画像などを用いたスライドによる講義を行う。臨床実習の学生に対しては、手術をはじめとする手技や検査の意義を教え、また疑問があれば解決できるように指導する。			0.20	医学部学生に講義を行った(1コマ、虫垂・腹膜・ヘルニアの分野)。また臨床実習の学生には患者の病態把握やレポート作成などを指導した。		
研究	0.30	現在大学院に在籍しているため、基礎実験から、必要に応じて患者検体を用いた研究を行う。			0.30	本年度は基礎実験のみであったが、低酸素誘導因子をテーマにし、複数の蛋白発現について解析した。		
社会貢献	0.10	地域講演会や市民公開講座に貢献する。			0.00	目標とした社会貢献については特に無かった。		
管理運営	0.10	病院の各委員会に参加する。			0.10	病院、大学の各委員会に参加した。		
診療	0.30	外来診療、入院患者の手術と病棟管理を行う。			0.40	目標の通りであった。		
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		稲福 斉	所 属	医学部 医学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	1. 学生に対する講義(M2, M3, M5); 心臓・大血管の奇形。重症心不全の外科治療、補助人工心臓治療。2. 臨床実習学生に対する臨床実習指導(心臓手術における術前、術後管理、心臓カテーテル検査方法、レポート作成)。各グループへのミニ講義を行う。		0.10	1. 心不全に対する外科治療(M3)、臨床奇形学(心臓・大血管の奇形)(M2)、補助人工心臓治療(M5総合講義)の講義を行った。M3循環器試験問題、M5総合試験問題作成を行った。2. 臨床実習学生に対する指導(心臓手術の術前術後管理、補助人工心臓管理、心臓カテーテル検査方法、レポート作成指導)を行った。	
研究	0.20	1. 臨床研究: ① 大動脈弁疾患に対する自己心膜を用いた大動脈弁再建術に関する研究。② 重症心不全に対する 植込み型補助人工心臓治療に関する研究。③ Budd-Chiari症候群患者に対する調査研究。2. 各種学術集会への参加、発表。		0.20	① 自己心膜による大動脈弁再建術研究会への参加(第47回心臓血管外科学会)、② 植え込み型補助人工心臓手術を1例に施行した。③ Budd-Chiari症候群の手術津を1例担当した。	
社会貢献	0.10	心臓移植を目指した植え込み型補助人工心臓治療を社会的に認知されるよう啓蒙活動を行う(心不全研究会の開催、医療施設へ出向いて患者のコンサルトを受けたり講演を行う)。		0.20	協同病院へ1回、中部徳洲会病院へ1回、中部病院へ1回訪問し、重症心不全患者を診察し、患者および家族へ心臓移植を目指した植え込み型補助人工心臓治療説明を行った。実際に他院より3人の重症心不全患者を受け入れ、補助人工心臓手術を行った。	
管理運営	0.10	1. 医療機器安全委員会への参加、2. 心臓移植適応委員会、植え込み型補助人工心臓適応委員会への資料作成協力。		0.10	1. 月1回開催される医療機器安全委員会へ参加した。2. 第7回 心臓移植適応委員会、植え込み型補助人工心臓適応委員会への資料作成協力を行った。	
診療	0.40	1. 心臓血管外科疾患領域患者への外来診療、2. 心臓血管外科疾患への術前、手術、周術期管理、3. 補助人工心臓患者の入院、外来診療、心臓移植サポート、4. 心臓移植患者の外来診療		0.40	1. 週1回の外来診療を継続した。2. 執刀医として35例の心臓血管外科手術を行い、周術期管理を行った。3. 植込み型補助人工心臓患者5人の外来診療を行い、心臓移植へ向けたサポートを行った。4. 心臓移植後患者1人の外来診療を行った。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	永野 貴昭		所 属	第二外科		職 名	助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.20	1) 担当学生に外来診察見学・手術参加等を積極的に実施してもらい、臨床現場を体感させる。 2) 1)の臨床現場に加えて、担当学生への講義の際に、胸部心臓血管外科領域への興味を持てる魅力ある内容を心がける。 3) 医師国家試験成績改善へ向けての対応も引き続き充実させる。		0.20	1) ベットサイドレクチャー(外来・病棟)に関しては、ステントグラフト(説明用)を実際にデモンストレーション形式にて行い、手術術式への理解を深めることができた。手術中にも、実際の術中画像・使用デバイスを使用し、説明を行った。学生間で互いの知識交換を図るよう工夫した。 2) 学生講義の際に、現状の手術治療に関する最新のデータを提供することはできた。新しく改訂されたガイドラインをもとに試験問題を作成し、国家試験への対応とした。			
研究	0.10	1) 急性大動脈解離症例に対する、企業型ステントグラフト開窓使用の臨床研究 2) 急性大動脈解離に対する胸部ステントグラフト治療用デバイスの多施設臨床研究への参加		0.10	1) 米国の施設で、海外医師に対して企業型ステントグラフト開窓使用の有用性に関して報告し、技術提供を行った。国内医師に対しての当施設での手術見学+レクチャーを行った。 2) 急性大動脈解離に対する胸部ステントグラフト治療用デバイスの使用成績調査への参加し、経過報告中である。			
社会 貢献	0.10	1) エコスクリーニングによる腹部大動脈瘤早期発見の啓蒙 2) 心臓血管領域における低侵襲治療に関しての公開講座・研究会等を積極的に行う。		0.10	1) 近隣施設および医師会講演会にてエコスクリーニングによる腹部大動脈瘤早期発見の啓蒙を行い、実際に健診・人間ドックにての早期発見につながった。 2) 県民公開講座、離島施設での講演、学会にて血管内治療および経カテーテル大動脈弁置換術に関しての最新情報を提供した。			
管理 運営	0.20	1) 病棟医長として、当該診療科の更なる平均在院日数改善、稼働率向上を図る。 2) 緊急患者受け入れ(当該関連疾患)に関して、当教室関連施設を取りまとめ、可能な限り全例受け入れ態勢を整え、近隣施設および県内中核病院への働きかけを行う。 2) PET有効活用に関して、引き続き働きかける。		0.20	1) 平均在院日数改善に貢献できた。 2) 急患受け入れ等の改善を図りつつ、近隣施設への情報提供を行い、新患患者数増加に貢献できた。 3) PET有効活用において、診療科スタッフへの周知を行い、検査実施に寄与できた。			
診療	0.40	1) 経カテーテル大動脈弁置換術実施数の増加を図る。 2) 新規に認可された大動脈ステントグラフトデバイスの国内普及を行う。		0.40	1) 本年度経カテーテル大動脈弁置換術の導入し、年間28例(計33例)安全に手技完結した。 2) モデルチェンジした腹部大動脈ステントグラフト(AFX)を日本で最初に導入し計17例安全に手術完結した。			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		渡邊 孝	所 属		医学部脳神経外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.10	脳神経外科学講義、救急医療系講義、研修医レクチャー、チュートリアルを通じて、脳神経外科領域における基礎的で実践に役立つ知識の習得を目指して教育を実践する。また、脳神経外科を志望する学生に対して、進路指導を行う。			0.10	脳神経外科学講義、救急医療系講義、研修医レクチャー、チュートリアルを通じて、脳神経外科領域における基礎的で実践に役立つ知識の習得を目指して教育を実践した。また、脳神経外科を志望する学生に対して、進路指導を行った。		
研究	0.20	現在進行中の研究テーマ 1) 髄膜腫におけるグルタミン酸受容体の発現、サブユニットの構成様式と病理学的所見、臨床的所見との関連について解析し、研究結果を発表。2) 安全で確実性の高い術中神経モニタリング法の開発。3) 神経内視鏡手術の発展に向けた手術機器の開発、4) 神経膠芽腫の新たな治療方法の確立について研究を進める。			0.20	現在進行中の研究テーマ 1) 髄膜腫におけるグルタミン酸受容体の発現、サブユニットの構成様式と病理学的所見、臨床的所見との関連について解析し、研究結果を発表。2) 安全で確実性の高い術中神経モニタリング法の開発。3) 神経内視鏡手術の発展に向けた手術機器の開発、4) 神経膠芽腫の新たな治療方法の確立について研究を推進した。		
社会貢献	0.10	脳神経外科医を目指す研修医、学生に対して、脳神経外科手術における基本手技の習得を目的とした手術手技習得コースを開催する。			0.10	脳神経外科医を目指す研修医、学生に対して、脳神経外科手術における基本手技の習得を目的とした手術手技習得コースを開催した。		
管理運営	0.10	リスクマネージャーとして、病棟の安全対策、危機管理運営を行う。救急部運営委員、手術部運営委員として、救急部及び手術部の運営に関与する。輸血療法委員として、血液製剤の適正利用に向けた活動を行う。卒後研修センターでは、有意義な初期研修が行われるよう活動する。			0.10	リスクマネージャーとして、病棟の安全対策、危機管理運営を行った。救急部運営委員、手術部運営委員として、救急部及び手術部の運営に関与した。卒後研修センターでは、有意義な初期研修が行われるよう活動した。		
診療	0.50	安全で確実な治療を行うことを第一目標とする。脳腫瘍の治療全般及び神経内視鏡を用いた経蝶形骨洞手術、頭蓋底手術を実践し、治療成績向上を目指す。			0.50	年間約50例の手術に関与し、安全で確実な治療を行ってきた。脳腫瘍の治療全般及び神経内視鏡を用いた経蝶形骨洞手術、頭蓋底手術を実践し、治療成績が向上した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		菅原 健一	所 属		琉球大学医学部附属病院 脳神経外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.10	学生、大学院生、研修医の教育指導を行う。要点がわかりやすく、受講者の興味関心を引く講義を心掛ける。		0.10	臨床実習生(ポリクリ、クリクラ)の外来実習、病棟実習、手術実習の指導を行った。医学部3年生に対し神経医学系講義を行った。初期臨床研修医および大学院生の指導を行った。			
研究	0.25	悪性脳腫瘍に関する臨床的および基礎的な研究を行い、学会での報告発表、学会誌への発表を行う。多施設共同臨床試験に積極的に参加する。		0.25	脳腫瘍について臨床的な研究を行った。一般社団法人・日本脳神経外科学会第75回学術総会にて「脳腫瘍に対する低磁場術中MRIを併用した画像誘導手術」の題目で発表を行い論文作成を準備した。			
社会貢献	0.05	関連病院における診療を通じて地域医療へ貢献する。		0.05	関連病院において外来診療を行い、地域医療に貢献した。			
管理運営	0.10	各委員会の委員として積極的に病院および医学部の運営に貢献する。		0.10	医療材料検討委員会委員、緩和ケアセンター連絡会議委員、クリニカルパス実施推進委員会委員、教育連絡主任として病院および医学部の運営に貢献した。			
診療	0.50	昨年に引き続き医療安全を推進し、患者中心の診療を行う。PETやMRIなどの画像診断装置、ナビゲーションシステム・術中MRI・神経機能モニタリング、光線力学療法などマルチモダリティを駆使した高度な脳腫瘍手術、先進医療を実践する。		0.50	医療安全の推進、患者中心の診療を実践した。術者として28、助手として36例の手術を担当し、PETやMRIなどの画像診断装置、ナビゲーションシステム・術中MRI・神経機能モニタリング、光線力学療法などマルチモダリティを駆使した高度かつ安全な脳腫瘍手術を提供した。特に光線力学療法は今年度導入に中心的役割を果たした。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		宮城 智央		所 属		医学部付属病院 脳神経外科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.05	医学科4年生へ担当の講義(救急医療系:意識障害)が予定されている。2週間毎に臨床実習を受ける医学科5年生に担当範囲のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験や臨床実習についても継続して助言や指導を行っていく。1年間を通して臨床実習する医学生5年生と6年生に対して、脳神経外科外来実習について、問診・診察・カルテ記載を指導していく。初期研修医・後期研修医への指導・助言を行っていく。				0.05	医学科4年生へ担当の講義(救急医療系:意識障害)を行った。2週間毎に臨床実習を受ける医学科5年生に担当範囲のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験や臨床実習についても継続して助言や指導を行った。臨床実習する医学生5年生と6年生に対して、脳神経外科外来実習のプレゼンテーション、問診・診察・カルテ記載を指導した。初期研修医・後期研修医への指導・助言を行った。				
研究	0.10	術前・術中における3Dなどの画像分析やシミュレーションなどの研究を継続し、これまで同様に学会発表を継続していく。				0.10	第75回日本脳神経外科学会学術総会、国際シミュレーション外科学会にて学術発表した。3月にも日本脳神経CI学会にてシンポジウムでの発表予定である。術前シミュレーション3Dや術中ナビゲーション3Dの研究をより深化させた。それらの3Dの方法について同僚などへ技術提供・指導した。手術用3Dについて昨年度の琉球大学後援財団からの研究費に続き、琉球大学の若手研究者支援研究費によって研究課題を遂行した。				
社会 貢献	0.05	沖縄県にて採用された研修医を対象としたシミュレーショントレーニングをおきなわクリニカルシミュレーションセンターにて行っており、平成27年度に続き、平成28年度も指導医として参加し、沖縄県の研修医教育に貢献していく。				0.05	昨年に続き、指導医として沖縄県にて採用された新規研修医を対象としたシミュレーショントレーニングをおきなわクリニカルシミュレーションセンターにて行った。県医師会主催の沖縄県後期研修医説明会で対応した。国際シミュレーション外科学会においてパネリストとして学術的發展に貢献した。				
管理 運営	0.10	感染対策実務者会議などの委員活動をこれまで同様に継続していく。その他、各種会議について代理出席にて補助していく。				0.10	感染対策実務者会議などの委員活動をこれまで同様に継続した。がん登録、院外委託検査委員などへ出席や代理出席での対応を行った。				
診療	0.70	琉球大学病院において、日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を怠りなく、より安全で確実に継続して行っていく。				0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を適確、安全に行った。				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		仲宗根 哲	所 属	琉球大学附属病院 整形外科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.10	学生に対する講義。臨床実習学生に対しては、診察方法やレントゲン読影について講義。		0.10	系統講義、臨床実習生に対する講義およびレポート添削など	
研究	0.20	特発性大腿骨頭壊死研究の継続、臨床研究		0.20	日本股関節学会発表、国際人工関節学会発表、日本股関節学会発表	
社会貢献	0.05	医療講話、啓蒙活動		0.05	ヒップの会(県内の整形外科)、	
管理運営	0.05	委員会委員		0.05	クリティカルパス委員会など	
診療	0.60	外来診察、手術・入院診療		0.60	人工股関節全置換術、股関節骨切り術、関節鏡手術など	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		石原昌人	所 属		医学部整形外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.10	学生からの積極的な意見の聴取、臨床実習の指導の充実		0.10	ポリクリ・クリクラ学生の指導を担当した。			
研究	0.30	学会誌への投稿・発表		0.30	日本股関節学会発表、股関節学会誌投稿、雑誌整形外科投稿			
社会貢献	0.20	学外の研究会などへの参加		0.15	沖縄関節外科研究会(H28年3月、9月)			
管理運営	0.10	試験関連業務における具体的貢献		0.05	試験問題作成等			
診療	0.30	診療活動及び医療支援など		0.40	平常の診療業務(外来、手術など)			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		六角 高祥	所 属		医学部 整形学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.20	1年生外来実習、M4TBL, CBT, OSCE		0.10	1年生外来実習担当、まとめ,OSCE,試験監督			
研究	0.20	西日本整形災害外科、西日本脊椎外科、側わん症学会、県医師会		0.10	西日本整形外科学会、沖縄県脊椎研究会年2回			
社会貢献	0.10	市民講話など		0.10	沖縄県薬剤師学術集会ランチョンセミナー講演			
管理運営	0.10	委員会委員		0.10	委員会委員			
診療	0.40	脊椎脊髄外科		0.60	脊椎脊髄外科			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山崎 俊	所 属	形成外科	職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.05	クリニカルクラークシップの学生の指導を行う		0.10	学生指導などを行った。	
研究	0.35	取得した科研費を用いて「ヒト人口リンパ節の開発」を行う		0.10	研究開始準備にとどまった。	
社会 貢献	0.05	患者向けの勉強会を行う。		0.00	特に勉強会を開く機会はなかった。	
管理 運営	0.05	クリニカルパス実施推進委員会、手術部運営委員会		0.10	各種委員会に参加した。	
診療	0.50	手術件数の増加、入院患者数の増加を目指す。		0.70	手術治療、入院患者の治療に従事した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		久高 亘	所 属	医学部附属病院 産科婦人科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.10	医学科学生臨床実習指導を充実させる。実習を通して医学・医療に関する理解を深めさせる。当科診療マニュアルによる医局員教育を実施する。医学研究科大学院生を研究指導する。		0.10	医学科学生に対し実地臨床を通して医学・医療への理解を深めさせ、臨床系統講義により婦人科学の理解を深めさせた。当科の診療マニュアル、産科婦人科関連学会発行の各種診療ガイドライン等を活用して医局員教育を行った。医学研究科大学院生の研究指導については十分ではなかった。	
研究	0.30	婦人科腫瘍関連の各臨床研究(NRG, JGOG, JCOG)に参加する。国内・外の婦人科腫瘍関連各学会への出席、演題発表を行う。研究成果を論文で発表する。		0.20	婦人科腫瘍関連の各臨床研究グループ(JGOG, JCOG)に参加、症例登録を通して研究に貢献した。第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、第54回日本癌治療学会学術集会、16th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Societyに参加、演題発表を行った。研究成果について英語論文を作成中である。	
社会貢献	0.10	沖縄産科婦人科学会での学会・研修会企画運営に携わる。		0.10	沖縄産科婦人科学会での学術集会、研修会の企画運営に貢献した。沖縄産科婦人科学会、沖縄産婦人科医会主催の「子宮頸がんから女性を守る市民公開講座」に関連して、地方紙「論壇」へ子宮頸がん予防の啓発に関する投稿を行った。	
管理運営	0.20	医局長として医局運営に貢献する。外来化学療法連絡会議副委員長として、外来化学療法の管理・推進に貢献する。機能画像診断センター経営管理委員会、がんセンターボード委員会、保険診療・DPC委員会、クリニカルパス実施推進委員会の各委員として貢献する。		0.30	産科婦人科医局長として医局運営に貢献した。外来化学療法室副室長として外来化学療法の管理・推進を行った。その他、機能画像診断センター経営管理委員会、がんセンターボード委員会、保険診療・DPC委員会、クリニカルパス実施推進委員会、診療記録監査チームの委員として貢献した。	
診療	0.30	手術件数、外来化学療法数の増加を図る。外来、病棟診療体制の再構築を行う。		0.30	手術件数は前年とほぼ同数を維持したが、主として行う化学療法レジメンの変化に伴い、外来化学療法件数は減少した。外来および病棟の診療体制の再構築を行い、効率化を図った。医局員の診療業務の過重負担を軽減した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		百名 伸之	所 属	医学部 医学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	医学部学生に対し、臨床講義、TBL、ポリクリ指導を行う。特にポリクリではチュートリアル方式を採用し、学生自ら問題を見つけ出し、それに自由な発想のもとに全員で回答を創造する形式をとる。教官としては必要な医学的情報を提示し、考える力、論理的思考、斬新な発想を促す役割を担う。研修医には臨床の実践を指導する。		0.10	・・・学生の自発性を促すことができ、単なる知識の植え付けではない創造的教育ができた。研修医には実践を指導した。	
研究	0.30	多施設共同臨床研究により小児がんの標準的治療を確立する。独自の臨床試験により難治性疾患、慢性GVHDについて新規治療開発、骨髄内臍帯血移植法の確立を目指す。基礎研究として移植後血管内皮障害と血小板マイクロパーティクルの関連を検討する。論文は英文で2編執筆する。		0.20	・・・複数の多施設共同臨床研究に参加し、症例の登録、データ収集、解析を行った。また倫理審査の承認のもとに、保険適応外薬剤を臨床試験として使用し、その安全性、有用性を検討した。血小板マイクロパーティクル関連は助成金を得て研究を開始している。論文は共著で英文雑誌に4編掲載、邦文で1編を投稿中。	
社会貢献	0.10	骨髄バンク認定施設として、ボランティアドナーの骨髄採取を行う。また、調整医師として、ドナー候補への骨髄採取説明を行う。社会の啓蒙活動として、一般市民への講演を行う。小児慢性特定疾患審査委員を務める。		0.10	・・・月1例程度のバンクドナー骨髄採取を行った。調整医師活動も同程度行った。骨髄バンク推進月間で骨髄移植について講演した。	
管理運営	0.20	小児科血液グループの人事、診療、研究の管理運営を行う。また病棟医長として病棟運営に当たる。		0.20	・・・血液グループの人事異動を行った。また、病棟の入退院の調整、無菌室の保守等を行った。	
診療	0.20	造血細胞移植を積極的に行い、県内での移植医療を完結する。小児がん一般については、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと共同で診療を行う。さらに、血液専門医、小児血液・がん専門医を育成する。		0.40	・・・年度内に11例の造血細胞移植を行った。これにより県外紹介は0であった。小児がん・血液一般の診療を行い、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと協力して県内で完結することができた。また、小児血液・がん専門医、指導医資格を取得し、若手の育成をお行っている。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		浜田 聡		所 属		医学部医学科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.20	臨床実習学生による実習症例報告会 血液フェロー向けの血液腫瘍レクチャー(月2回) 臨床免疫学レクチャー(輪読会)				0.20	計画通りに遂行				
研究	0.30	慢性GVHDにおけるNKG2Dリガンドの役割(平成29年度科研応募)				0.20	皮膚硬化型慢性GVHDに対するNB-UVB療法の効果に関する論文がアクセプト 同種移植後早期合併症である心のう液発症メカニズムに関する論文を投稿中				
社会 貢献	0.05	骨髄バンクドナーコーディネート実施(月3回)				0.10	骨髄バンクドナーコーディネート実施(月2-3回)定期的に実施				
管理 運営	0.05	リスクマネージャー業務、輸血療法委員				0.10	リスクマネージャー業務、輸血療法委員				
診療	0.40	外来、病棟患者のマネジメント				0.40	2018年度同種造血細胞移植10症例施行。外来、病棟患者のマネジメント				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山本雄一	所 属		医学部	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	医学科学生の臨床系統講義、医学科臨床実習生の指導・教育、看護師の指導・教育、研修医・研究生・医員の指導・教育。学会発表指導、論文指導を行う。			0.20	学部学生の講義を行った。臨床研究学生に対して臨床を指導した。組織検討会を行い、皮膚病理学を指導し、学会への発表の指導を行った。		
研究	0.25	日本皮膚科学会総会への参加、学術論文雑誌への論文投稿			0.30	沖縄県皮膚科勉強会、地方会へ参加した。依頼原稿を執筆した。		
社会貢献	0.15	沖縄県他施設での外来診療・手術。離島での診療・手術。市民公開講座の開催、運営。講師として皮膚疾患の知識の啓蒙を行う。			0.15	沖縄県他施設での外来診療、手術を行った。市民公開講座の開催、運営を行い講師として皮膚疾患の知識啓蒙に努めた。		
管理運営	0.10	保険診療委員会、DPC委員会、救急部運営員会での委員を務める。			0.15	がん部会、救急部運営協議会委員、保険診療委員、医療材料検討委員等、DPC委員の委員会へ出席した。		
診療	0.25	大学病院での外来・入院・手術診療。術後管理を行う。			0.20	大学病院での外来・入院・手術診療を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		新嘉喜 長	所 属		医学部 医学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.10	医学部学生への講義。学生、研修医への指導・教育。			0.10	医学部学生への講義、クリニック学生や研修医の指導を行った。		
研究	0.10	皮膚科学会、地方会、勉強会での発表、参加。			0.10	皮膚科学会、地方会へ参加した		
社会 貢献	0.10	在宅褥瘡セミナーの開催、他施設での診療。			0.10	在宅褥瘡セミナーの開催、他施設での診療を行った。		
管理 運営	0.10	安全管理対策委員会、褥瘡委員会、医薬品安全管理専門委員会、医局長会、医師キャリア支援センター会議等への参加を行う。			0.10	安全管理対策委員会、褥瘡委員会、医薬品安全管理専門委員会、医局長会、医師キャリア支援センター会議等へ参加した。		
診療	0.60	大学病院での入院、外来診療。			0.60	大学病院での入院、外来診療を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		園崎 哲	所 属	医学部医学科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育 ・ 学生 支援	0.30	医学科学生の臨床系統講義による教育。医学科臨床実習生への病棟での教育。研修医への皮膚科学の教育。		0.20	臨床系統講義による教育を行った。医学科臨床実習生への病棟での教育を行った。研修医への皮膚科学の教育を行った。	
研究	0.10	学会雑誌への投稿。臨床治験参加。		0.10	臨床治験に参加した。	
社会 貢献	0.10	市民公開講座の開催協力		0.10	市民公開講座へ参加した。	
管理 運営	0.20	委員会委員		0.10	感染対策委員、緩和ケア委員会、輸血療法委員会委員を務めた。	
診療	0.30	大学病院における外来診療や入院患者診療。関連施設での外来診療		0.50	大学病院における外来診療や入院患者診療を行った。関連施設での外来診療を行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		林 健太郎	所 属		医学部附属病院皮膚科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.15	医学部学生への臨床講義、病院実習。研修医への指導。日本皮膚科学会専門医指導医として、後輩への指導。		0.15	目標通り、行うことができた。			
研究	0.15	科研費を取得し(申請中)、Kaposi肉腫の研究。所属する日本皮膚科学会、日本皮膚外科学会、日本アレルギー学会、日本形成外科学会、日本皮膚悪性腫瘍学会等での学会発表。		0.15	目標通り、行うことができた。学会参加および日本皮膚科学会での学会発表を行なった。			
社会 貢献	0.10	離島医療支援:与那国診療所、伊江島診療所、久米島病院(夏より予定)での診療。沖縄本島内での地域医療の診療支援。		0.10	沖縄本島内での地域医療の診療支援、ならびに離島医療支援:毎週の公立久米島病院、不定期の与那国診療所での診療を行っている。			
管理 運営	0.10	がん登録委員会、レジメン登録委員会、クリニカルパス委員会、放射線診療委員会への参加および診療への反映。		0.10	目標通り、行うことができた。			
診療	0.50	医学部附属病院における手術、外来診療、病棟業務等の日常診療。		0.50	目標通り、行うことができた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		呉屋 真人	所 属	医学部 医学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	1. 医学部学生に対する泌尿器科の基本的検査や尿路系疾患に関する臨床講義。2. 臨床実習医学生に対する、病棟、外来、手術室での指導および尿路悪性腫瘍領域における最新内容のクルズスを行う。3. シミュレーションセンターを活用し、腹腔鏡手術を臨床実習医学生に指導する。4. 院外実習の指導医として、臨床実習医学生を指導する。5. M4学生に対するTBLチュートリアルを担当する予定。		0.20	1. 医学部生にたいし、『泌尿器科領域の基本的診察と検査』、『腎血管疾患』に関する臨床講義を実施 2. 医学部4年、5年生、6年生の臨床実習において、病棟、外来、手術室において、直接指導を行うと同時に、最新の臨床情報を含む小講義を行った。3. 院外実習(那覇市立病院)での指導医として、臨床実習生の指導を行った。4. M4学生に対するTBLチュートリアルを第三内科と共同で実施した。	
研究	0.20	1. 主要な学会において臨床研究の発表を行う。2. 骨転移を有する尿路悪性腫瘍患者に対する効果的治療戦略の確立。3. 英語論文を最低1編投稿する。4. 競争的科学研究費を最低1件取得を目指す。5. 沖縄県泌尿器科EBM研究会の事務局としてAll Okinawaの研究をサポートし、英語論文の作成を促進する。		0.20	1. 県内の研究会、地方会において、腹腔鏡手術の成果や骨転移に関する新知見の講演、発表を行った。2. 自施設の症例をまとめ、日本泌尿器学会、日本泌尿器内視鏡学会にて発表した。3. EBM研究会の事務局として、会の運営に携わる。	
社会貢献	0.10	1. 沖縄県の腎機能障害の自立支援医療(更生医療)の医学判定等の嘱託医を引き続き担当する。2. 前立腺がん地域連携パスの運用拡大のため、かかりつけ医への登録を促し、院内外の勉強会の立ち上げを企画、実施する。3. 看護学校での泌尿器科学講義 4. 前立腺がん早期発見のための、市民公開講座や医師会講演を企画し、その啓発に努める。		0.10	1. 沖縄県の腎機能障害の自立支援医療(更生医療)の医学判定等の嘱託医を引き続き担当する。2. 看護学校での泌尿器科学講義 3. 前立腺がん早期発見のための、浦添市、宜野湾市医師会においてPSA検診に関する講演を実施し、その啓発に努めた。	
管理運営	0.05	病理部運営委員会、栄養サポート運営委員会、輸血療法委員会、キャンサーボード、病院経営改善委員会、薬事委員会、病院再整備ワーキンググループ、ロボット導入・手術室増室に関わるWG等への参加		0.05	栄養サポート運営委員会、検査・輸血部運営協議会、キャンサーボード、病院経営改善委員会、薬事委員会、病院再整備ワーキンググループへ参加した。それに加え、手術支援ロボットダビンチ導入に関連したいくつかの委員会にも参加した。	
診療	0.45	入院、外来患者数の増加を目指す。自身が中心になり平成26年3月に施設認定基準をクリアした腹腔鏡下前立腺摘除術をはじめとした腹腔鏡手術を指導医的立場で、若手医師の手術の指導とサポートを行う。尿路悪性腫瘍にたいし、手術療法のほか化学療法、分子標的療法による治療と全身管理を実施。今後、ロボット補助下手術の導入に向けてその準備に取り組む。		0.45	1. 多施設から紹介された多くの泌尿器科悪性腫瘍の手術の他、難渋症例の集学的治療に積極的に取り組み、一定の治療効果をえた。2. 腹腔鏡手術の指導医として若手医師の指導をおこなった。3. ロボット支援腹腔鏡下手術導入の準備をその中心的メンバーとして取り組んだ。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		安次嶺 聡	所 属	大学院医学研究科 腎泌尿器外科学講座	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.30	①医学部学生の実習における、手術、病棟・外来診療における指導を行う。 ②医学部学生の系統講義を行う。 ③看護学生(学外)の講義を行う。		0.30	①おおむね達成できた。特に手術や外来時の指導に力を入れた。 ②腎・泌尿器系2コマ、感染症系1コマの講義(試験問題作成)担当した。 ③沖縄看護学校の講義(試験問題作成)を2コマ担当した。	
研究	0.20	①臨床研究を中心とした学問の追及を継続する。 ②学会発表を行う。 ③学会発表内容を中心に論文を作成する。		0.20	①臨床研究の準備を進めた。進捗状況は、沖縄県泌尿器科EBM研究会で報告 ②泌尿器内視鏡学会、移植関連学会で発表を行った。 ③論文2本の作成準備中(1件は著者、他方は共著者として)。年度内の完成を目指す。	
社会 貢献	0.10	①市民公開講座の開講 ②臓器移植推進委員としての活動を定期的に行う。		0.10	①達成(開講)できなかった。 ②年2回の会議以外にも、県内施設が集まる勉強会へ参加した。	
管理 運営	0.10	①医局長としての医局運営を行う。これには、学外の関係各位との連携や共同企画の遂行なども含む。 ②院内各種委員会(レジメン委員会、化学療法委員会など)における活動を行う。		0.10	①全うした。本来の医局長業務以外に、非常勤職員の役割も一部担った。 ②定期会議やメール稟議を通じた活動を全うした。	
診療	0.30	・一般泌尿器科医として、手術や外来・病棟診療を行う。		0.30	・手術、外来、病棟など、すべての医療行為にベストを尽くした。自分の能力以上の内容が要求されるものには、適切に他の協力を仰いで対応できた。その結果、大過なく業務を遂行できたと考える。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		芦刈 明日香		所 属		医学部 医学科 腎泌尿器外科学講座		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.20	臨床実習で回ってきた学生に対して、外来・病棟・手術等について説明を行い理解を深めさせる。				0.20	前半の半年は病棟・手術時を中心に、学生指導にあたる事ができた。後半は手術・外来業務時において指導にあたったが十分な時間を裂けなかったと思う。				
研究	0.30	昨年に引き続き腹圧性尿失禁の薬物治療についての動物実験を行い結果をさらに確認のあるものとし、論文化する。				0.20	追加実験などを行い、論文作成中である。				
診療	0.50	今年度前半は病棟チーフとして積極的に入院・手術症例に関わり、手術手技の向上と疾患に対する新たな知見を常に勉強する。				0.60	前半半年は入院症例に多く関わり、左記の目標を達成できたと思う。後半も手術症例を多く経験できた。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		仲西 昌太郎		所 属		医学部 腎泌尿器外科学講座		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.05	外来での実習指導、レポート点検などを行う				0.05	外来での実習指導、レポート点検などを行った。				
研究	0.70	大学院生として研究のまとめ、論文化を目指す。				0.70	大学院生として研究のまとめ、論文化を目指す(2017年9月をめぐりに)				
診療	0.25	外来や手術など積極的に実施していく				0.25	外来や手術など積極的に実施していった				
計	1.00					1.00					
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	我那覇 章		所 属	医学部附属病院 耳鼻咽喉科	
職 名			講 師		
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定	業務 ウエイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.10	学生講義、ポリクリ実習を通し、学生教育を行う。	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・TBL (Team-based learning)の担当教員として講義を行った。 ・OSCE (M4) 実施担当者、OSCE頭頸部ステーション副責任者を担当、実施した。 ・学生講義、ポリクリ実習を通し、学生教育を行った。 	
研究	0.40	沖縄県の難聴遺伝子解析研究を継続し論文として成果報告する。	0.40	<p>[以下、筆頭著者として論文投稿中である] Title: A novel CHD7 mutation and cochlear implantation via an endomeatal approach with cartilage protection in a patient with CHARGE syndrome [以下、共著者としてとして論文掲載された] 小児人工内耳術後コミュニケーションモードに影響を与える要因の検討。 日本聴覚医学界 Vol.59 No.4 (2016.08) [継続研究として]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成28年度に沖縄県難聴患者46家系を加えて、計81家系に対して次世代シーケンサーによる100遺伝子の解析を行い、これまでに49家系において原因の可能性のある遺伝子変異を明らかにした(新規変異については追加発現解析予定、投稿準備中)。 2. 原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・バンクと網羅的解析(IRUD-P)の分担研究者として参加し、沖縄全県レベルのIRUD-P体制を構築し、2016.01-2016.09までに沖縄県全体で(沖縄IRUD-P協議会として)44検体を症例エントリーした。 	
社会 貢献	0.05	市民公開講座や患者団体等における講演やマスコミを通した耳鼻咽喉科疾患の啓蒙活動を行う。	0.05	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民公開講座「耳の日」講演会(2017/3/6)において、人工内耳の講演を予定している。 2. 2017/2/18に鹿児島市民病院(鹿児島県)にて開催され人工内耳装用者(患者さん)によるマリンバ演奏会に人工内耳医療従事者として参加(招待)、ディスカッション予定。 3. 乳幼児健康診査委員として小児保険協会の委員会に出席し乳幼児健康診査の改善、充実に貢献した。 	
管理 運営	0.05	関連する委員会への参加を行う。	0.05	リハビリ運営委員会委員、医局長会、選挙管理委員会、に参加し管理運営に携わった。	
診療	0.40	診療科として年間100例以上の耳科手術を行う。	0.40	2016.12.31時点で100例以上の耳科手術を行い得た。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 	1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		喜友名 朝則	所 属		医学部附属病院 耳鼻咽喉科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.09	学生講義に臨床に即した話題、過去の国家試験問題などを取り入れながら学生の学習意欲をかきたて、さらに実習では問診や問題解決の方法などより実践的な教育を行う。学生の進路に対して積極的に相談に応じる。		0.05	学生の講義に関しては臨床の事例を交えながら動画を併用し行い、臨床実習生に関しては問診の取り方、診断のアプローチの仕方を中心に臨床に即した講義を行い、なるべく興味を持てるよう努力した。			
研究	0.35	科研費助成を受けている音声と脳機能に関する研究を引き続き行う。また、音声以外(顔面神経、嚥下など)の脳機能についても研究を行う。これらのデータをもとに学会発表、論文投稿を行う。		0.40	音声と脳機能に関する研究が計画通り行えた。音声に関するその他の研究も進めた。国内学会へ報告し、論文も作成した。			
社会貢献	0.03	県内の声楽家が主催する研究会において、音声に関する医学的知識の講演を行い、音声障害予防に関して社会的に貢献する。		0.02	声楽発声学会など県内の声楽家が主催する研究会で、一般の声楽家へ発声に関する講演を行い、地域貢献事業に助力した。			
管理運営	0.13	外来医長として外来におけるトラブルがないよう対策を考える。手術の日程を無駄なく効率よく行うことができるよう努める。		0.08	外来医長として外来における体制などトラブルがないように努めた。手術の日程を無駄なく効率よく行うことができるよう努めた。また、感染対策委員として感染対策を行った。			
診療	0.40	音声障害、嚥下障害を中心に保存的治療、手術治療にとりくむ。		0.45	計画通り音声障害、嚥下障害を中心に保存的治療、手術治療にとりくんだ。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		又吉 宣		所 属		医学部附属病院 耳鼻咽喉科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.10	医学部医学科病院実習学生に対する教育、指導				0.20	医学部医学科病院実習学生に対する教育、指導				
研究	0.20	頭頸部扁平上皮癌におけるリゾフォスファチジン酸経路に関する研究(H27年度科研費研究助成)				0.20	頭頸部扁平上皮癌におけるリゾフォスファチジン酸経路に関する研究(H27年度科研費研究助成)				
社会 貢献	0.05	大学病院内の各種委員会				0.05	大学病院内の各種委員会				
管理 運営	0.05	大学入試試験監督業務				0.05	大学入試試験監督業務				
診療	0.60	病棟、外来、手術、当直等				0.50	病棟、外来、手術、当直等				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上原 貴行	所 属		医学部 医学科 耳鼻咽喉・頭頸部外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.10	病院実習の学生へのレクチャー、OSCEなどの評価者			0.10	左記の通り遂行		
研究	0.35	頭頸部癌に対する樹状細胞ワクチンの開発に関する研究(科研費取得済)等の研究 各種耳鼻科関連学会への参加			0.30	やや研究時間の不足あり 学会への参加については左記の通り		
社会 貢献	0.05	鼻の日講演等の市民講座参加(講演等)			0.05	予定通り市民講演会、臨床検査技師対象のレクチャーなど行った		
管理 運営	0.05	病院内会議等			0.05	左記の通り		
診療	0.45	病棟・外来業務、手術等			0.50	左記の通り、最も業務時間を要した		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		松隈 憲吾	所 属	医学部 医学科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.20	授業においては国家試験を意識した標準的な授業を行う。また、臨床実習においては実臨床に必要な知識も教育していく		0.10	学生、研修医等に最低限の指導は行ったが、その他診療などの業務の過多もあり十分とはいえない結果であった。	
研究	0.10	認知症を中心とした診療を行っていくが、現在の沖縄の認知症医療における臨床研究を行っていく		0.05	臨床研究を行うための素地(データ収集など)は行っている	
社会 貢献	0.15	認知症に対する一般的知識の啓蒙や家族の対応方法など一般市民に対して行っていく		0.20	地域住民へ向けた、講演や、認知症に関わる看護師、ケアスタッフ、医師の育成講義などは精力的に行えた	
管理 運営	0.05	クリニカルパス委員として認知症入院治療など新たなクリニカルパスの作成により画一的、標準化された治療を導入していく。		0.05	認知症に入院に関わるクリニカルパスの作成を行った	
診療	0.50	現在の最善の治療を患者様に提供できるように、知識のブラッシュアップや研究などを通して得た知識も患者様に還元していく		0.60	認知症疾患医療センターの外来を中心に診療を行い、地域型認知症疾患医療センターの患者も広く受け入れ診療に従事した	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		千葉 至	所 属		医学部附属病院放射線科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.10	授業およびポリクリ実習の指導		0.10	予定通り実施できた。			
研究	0.10	沖縄県内のPET検査における施設間SUV補正についての研究		0.10	ファントム実験により県内3つの施設のPETカメラの特性を解析し、SUV値の補正が可能となった。			
社会 貢献	0.10	沖縄県核医学分野のレベルアップのため教育研修会や講演会を開催		0.10	核医学懇話会や心臓核医学教育研修会などを開催した。			
管理 運営	0.40	附属病院の核医学部門やPETセンター、放射線安全委員会などを運営		0.40	予定通り実施できた。			
診療	0.30	核医学検査を主とする画像検査やRI内用療法、RI外来での診療		0.30	予定通り実施できた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		有賀 拓郎	所 属	医学部附属病院 放射線科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療の重要性の教育 放射線治療の適応の教育 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 学生、とくに病棟実習で当科をローテートしてくる学生から放射線治療の重要度と業務内容を学べたとのことが多く聞かれ、一定の効果をあげているものと考えられる。 	
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 進行食道癌の根治的放射線治療成績の論文化。 小線源治療併用前立腺癌全骨盤照射の臨床試験化 JCOG1408肺定位照射に関する多施設共同研究への参加 JROSG12-1頸部食道癌IMRTに関する多施設共同研究への参加 JROSG13-1転移性脳腫瘍に対する定位照射＋全脳照射に関する多施設共同試験への参加 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 論文は現在作成中 他施設共同試験3件に関してはIRBの承認も終了し、適応症例に対して積極的な参加を促している。 	
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座の主催 他病院/他診療科への放射線治療の具体案の提示 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 2月に肺がんに関するワークショップを開催予定 3月に前立腺癌に関する市民公開講座を開催予定 	
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療の標準化 高精度放射線治療の開始の迅速化 放射線治療専門医の育成 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療のうち、全国で標準的に行われている治療に関しては院内標準化を進め、行気研修医レベルで計画の立案作成が可能になった。引き続き院内標準化を図る。 	
診療	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療の適応増加 小線源治療の標準化 緩和照射の適応増加 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 当院における放射線治療件数は過去最高件数であり、適応は増加したと考えられる。 小線源治療担当医も年度初頭の1名から3名に増加した。 緩和照射件数も増え、来年度以降は市民公開講座も予定している。 	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊良波 裕子	所 属		附属病院 放射線科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.10	講義やポリクリ実習にて適切な指導を行う		0.10	予定通り講義やポリクリ実習を行い、適切な指導をした。			
研究	0.15	前立腺や女性骨盤臓器のMRIについての研究		0.10	特に女性骨盤臓器の画像診断について症例のデータ収集を行っているが、予定ほどは研究の時間をとることができなかった。			
社会 貢献	0.10	学会、研究会への参加		0.15	国内外における放射線学会に積極的に参加あるいは発表を行った。			
管理 運営	0.05	救急部運営協議会委員		0.05	おおむね参加した。			
診療	0.60	日常診療業務(読影、血管造影、外来など)		0.60	日常診療業務(読影、血管造影、外来など)に日々従事した。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		安部 真教	所 属		医学部附属病院 麻酔科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	医学部学生・研修医に対し、積極的に実習に参加できるよう、安全に注意を払い丁寧に指導教育を行う。研修医に対し実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導教育する。			0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。超音波や透視室を利用した神経ブロックを指導し、安全に実施することができた		
研究	0.20	麻酔、ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する			0.10	ペインクリニック、緩和ケアの臨床研究、症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。		
社会貢献	0.10	地域関連施設に週一回出向し、関連施設の医師および看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援および技術の還元を行う。			0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。看護学校での講義を行った。		
管理運営	0.10	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行う。外来業務に携わるスタッフと協力し、安全かつ効率的に外来業務を行う。			0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。		
診療	0.40	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来で疼痛患者の治療を行い、緩和ケアチームの活動運営を行う。			0.50	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において痛みの治療を行い、多くの患者でQOLの改善がみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌に伴う苦痛の軽減を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		比嘉 達也	所 属		麻酔科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。教官として学生、研修医の進路指導に関わる。			0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。神経ブロックの説明に骨の模型を用いるなどの工夫を行った。		
研究	0.10	麻酔、ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。			0.10	ペインクリニック、緩和ケアの症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。		
社会 貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。			0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。		
管理 運営	0.10	スタッフとして医局、手術室、ICU運営に協力する。			0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。		
診療	0.50	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて患者を診療し治療する。			0.50	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において疼みの治療を行い、QOLの改善が多くの患者にみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		和泉 俊輔	所 属		医学部 医学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	医学部での系統講義ならびにM5、M6への病院臨床実習における指導を行う。初期研修医に対しては、初期臨床研修必須項目を実施できるように指導する。医学部医学教育企画室の委員として尽力する。			0.30	医学部での系統講義ならびにM5、M6への病院臨床実習での教育を行った。より良い病院臨床実習の為に実習内容の編成を開始した。初期研修医に対しては、初期臨床研修必須項目を実施できるように指導した。医学部医学教育企画室の委員として尽力した。		
研究	0.10	基盤研究の獲得に向け培養肺細胞を用いた研究を行い、論文の執筆を行う。また、手術室において脊髄虚血に関連した臨床研究を行う。			0.10	基盤研究の獲得に向け培養肺細胞を用いた研究を行い、論文の執筆を行っている。また、手術室において脊髄虚血に関連した臨床研究を行っている。また臨床麻酔学会にてシンポジストとして発表を行った。		
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。			0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。		
管理運営	0.15	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行う。			0.15	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行った。		
診療	0.35	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。新規手術の安定に向けた麻酔管理を準備していく。			0.35	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。新規手術の安定に向けた麻酔管理を行っている。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		神里 興太		所 属		医学部附属病院 麻酔科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.15	学生、研修医、看護師、臨床工学技士に対し、周術期患者管理に関する知識や技術に関する教育を行う。特に麻酔器や人工呼吸器、持続血液ろ過透析装置等の急性期患者管理に必要な医療機器のしくみや取り扱いに関して講義のみならず実際の機器を用いた参加型の教育を行う。				0.20	学生、研修医、看護師、臨床工学技士に対し、周術期患者管理に関する知識や技術に関する教育を行った。特に麻酔器や人工呼吸器、持続血液ろ過透析装置等に関して初期研修医・後期研修医などに講義を行った。(シミュレーションセンターでの講義を含む)				
研究	0.25	基盤研究(若手B)で獲得した脊髄障害モデルを用いた研究を行い、基礎研究を推進する。また、集中治療室においてアフレーシス療法などの高度医療の最適化に向けた臨床研究を行う。				0.25	基盤研究の獲得に向け脊髄障害モデルを用いた研究を行なった。一報採択となり、論文の執筆を行い現在2報目および3報目を投稿中である。また、集中治療室において肝補助療法等の高度医療の最適化に向けた臨床研究を行うべく、データの集積を開始し、学術集会での講演を行った。				
社会貢献	0.15	県下の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に講演する。				0.15	県下の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に対して講演を行った。(日本アフレーシス学会、沖縄県クリティカルケア研究会など)				
管理運営	0.10	大学および大学病院における委員会の活動に貢献する				0.10	大学および大学病院における委員会(救急部運営協議会など)の活動に参加した				
診療	0.35	術前あるいは術後管理を含む手術麻酔管理、特に集中治療管理を要する様な重症症例の周術期管理に従事し、安全な医療を提供する。集中治療室において人工呼吸療法やアフレーシス療法を用いた先進的かつ高度な専門治療を行い疾患治癒に貢献する。				0.30	院内における手術麻酔管理(術前・術後を含む)および集中治療管理に従事した。安全な医療を提供すべく、他職種と協力して診療にあたった。集中治療室において肝補助療法や腎代替療法を他職種と共に施行した。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		久保田 陽秋	所 属		附属病院 麻酔科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	医学部M5、M6学生への病院臨床実習における指導を行う。初期研修医に対しては、初期臨床研修必須項目を実施できるように指導する。			0.10	医学部M4,M5,M6学生への病院臨床実習における指導を行った。初期研修医に対し、初期臨床研修必須項目が実施できるように配慮し指導を行った。		
研究	0.20	科研費 若手研究(B)の採択に伴い一酸化窒素合成酵素と脳梗塞に関する基礎研究を計画・実施する。また、臨床に関しても、学術集会、学術誌等で発表を行う。			0.28	科研費 若手研究(B)の採択に伴い一酸化窒素合成酵素と脳梗塞に関する基礎研究を計画・実施した。臨床に関しては、九州麻酔科学会において、ポスター発表を行った。		
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。			0.12	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。		
管理運営	0.15	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行う。			0.15	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全を最優先にスムーズな運営を行った。		
診療	0.30	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。新規手術の安定に向けた麻酔管理を準備していく。			0.35	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献した。手術を受ける患者に対し、安全を最優先に高度な医療を提供した。新規手術の安定に向けた麻酔管理を学びながら対応継続中である。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		片岡恵一	所 属		医学部 歯科口腔外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	外科的矯正治療および先天異常疾患に起因する矯正治療に関して、新人教育および学生教育にカリキュラムとして導入する。卒後研修医局員に対し、適切な歯科に関する知識、技術を提供し、今後の進路および得意分野の開発におけるアドバイスを行う。また、学会発表、論文作成を研修医などを含めて行い、大学院での基礎研究も行う。			0.30	研修医、若手医員の学会発表支援を5演題行った。引き続き、29年度学会のための抄録準備支援、医学部学生基礎配属の研究支援を引き続き行っている。また、引き続き大学院への進学支援、専門資格の獲得に向けた準備、支援を行っている。		
研究	0.20	外科的矯正治療および先天異常疾患に起因する矯正治療における、機能、形態学的な臨床研究の立ち上げを行う。若手研究Bもしくは基盤研究Cでの競争的資金獲得を目指す。			0.20	顎顔面形態と遺伝子に関する研究について、若手研究Bに筆頭で、基盤研究Cに分担研究者として申請した。		
社会貢献	0.10	診療科としての特色である、顎変形症、口唇口蓋裂治療に関しての情報発信を行う。当初、歯科口腔外科のホームページでの情報発信から始めていき、市民公開講座などでの広義での情報提供、歯科健診などのスクリーニングによる狭義での情報提供を行う。			0.10	顎変形症について沖縄タイムス記事の寄稿予定である。引き続き、学外での歯科などとの連携を模索し、より多くの症例をご紹介いただけるよう要請してゆく予定である。		
管理運営	0.10	リスクマネージャー、クリニカルパス委員会への参加、医局運営の円滑化、セキュリティの強化に努める。			0.10	リスクマネージャー、クリニカルパス委員会への参加、医局運営の円滑化、セキュリティの強化を行い、さらに医局内でのコンプライアンスについても提言を行っている。		
外来業務	0.30	顎変形症、口唇口蓋裂、先天異常症例における歯科矯正治療症例、私費の矯正歯科治療、および一般歯科治療より多くの症例を受け入れ、大学病院の診療科としての付加価値を向上する。			0.30	自費診療の拡大、医用機材申請による設備の充実化により、県内の他施設よりも付加価値の大きな治療ができる体制の構築に努めた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		河野 俊弘	所 属		医学部附属病院歯科口腔外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	歯科口腔外科外来での診療やカルテ記載の指導。臨床研修ゼミ(顎変形症)の担当。診療時間外での研修医への技術指導や、医学的知識の伝達をおこなう。			0.20	本年度は予定されているローテーションの学生への顎変形症に関するゼミの他、M4の公衆衛生での発表「口腔ケアによる周術期の環境改善」の指導、監督を務めた。病棟勤務の研修医への医学的、技術的指導も例年どおりおこなった。		
研究	0.30	他科領域のがんワクチン研究を口腔がんに応用し、当科での組織標本を使用した基礎研究おこなう。OISTや豊見城中央病院との共同研究へ参画する。顎変形症治療により得られるデータを用いて新たな改善点を見出して発表題材とする。臨床的、病理組織学的に稀有な症例の学会発表と論文投稿。			0.20	顎変形症の手術後に生じる知覚鈍麻について、術前術後のCTデータを用いてそのリスク因子検索をおこなっている。当初検討していたvitro研究は、現状では施設の環境から困難なため、検討が必要。日本口腔外科学会(2016年10月)で2年目研修医の発表の作成と指導をおこなった。		
社会 貢献	0.10	JICA事業イベントへの参加。口腔科学会地方会と口腔ケア学会総会の準備作業。市民公開講座での講演やサポート業務へ参加。			0.10	JICA祭りの準備と現場対応をおこなった。口腔科学会九州地方会への準備と現場対応をおこなった。沖縄歯科衛生士学校で解剖学講義を6か月間おこなった。		
管理 運営	0.10	医局長会議へ参加し、他科医局長との折衝や提案をおこなう。当科医局員への会議内容伝達おこない、学内のイベントへの参加を円滑におこなえるよう行動する。また医局内イベントの人員配置や準備状況把握おこない、対外的活動に支障をきたさないよう留意する。			0.20	医局長として、医局員のトラブル解決と教授からの伝達事項の通達・調整おこなった。外勤先からの定期、不定期の依頼の処理や問い合わせとクレームの対応おこなった。医局長会議では、当科から生じた疑問や要望などを議題として提出し、病院としての対応を検討していただいた。		
診療	0.30	歯科口腔外科病棟スタッフとして、当病棟の主たる疾患である口腔がん治療を、手術から術後治療(CCRT)まで安全、確実にこなえるよう準備および適宜対応おこなう。患者とその家族の要望に可及的応える治療を施す。また、顎変形症チーフとして治療法の改善と確実な治療をおこなう。			0.30	病棟勤務として、主として口腔がん治療に従事した。手術参加はもちろん、術後CCRT患者の対応について、今年度で多くの知識と技術を学んだ。またそれをチーム内で標準化すべく活動した。顎変形症治療を歯科矯正科医と協力して継続的にこなった。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		又吉 亮	所 属		医学部附属病院 歯科口腔外科	職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.25	ポリクリ学生へ医科歯科連携の重要性について、将来連携が取れるように講義を行う。研修医への診療指導。医員・研修医が大学院進学を目指し、研究活動に興味を持てるように指導。		0.25	おおむね達成できた				
研究	0.30	英文誌へ投稿。国内学会発表。口腔癌治療に関する多施設共同研究に参加。		0.30	和文誌への掲載はできた。年度初めの予定以外の国内学会発表を行った。				
社会 貢献	0.05	講座主催の市民フォーラムなどへの参加。主催学会の準備。		0.05	目標達成した				
管理 運営	0.05	病院内各種委員会に参加(感染対策、ICU運営、レジメン)し、病院運営に積極的に参加。講座ホームページを管理。		0.05	目標達成した				
診療	0.35	外来診療(1日)、病棟診療(4日)。口腔癌治療を中心に入院患者の管理を行う。専門医受験申請の準備。		0.35	おおむね達成できた				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		後藤 尊広	所 属		医学部附属病院 歯科口腔外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.10	新たに医局に入局する研修医、また2年目を迎える後期研修医に対する臨床現場での指導。さらに、研究の楽しさを教えるために学会発表指導を行い、大学院への入学の足掛かりとなる存在になりたい。医学部学生に対しては、講義や手術を通じて、病院歯科の役割などを体感してもらいたい。			0.10	研修医1名に対して学会発表指導を行い、学部学生講義やOSCE部門責任者を通じて一定の教育活動を行うことができたと考えられる。		
研究	0.25	1年に1本以上の英語論文執筆、投稿、アクセプト。加えて、学会発表を国内外で行う。 実績が外部獲得資金に繋がることを意識していく。 H27に獲得した若手Bから基盤研究獲得へ繋がるような実績作りをする。			0.25	国内学会発表1回、英語論文投稿1本を行うことができた。		
社会 貢献	0.20	ラオス国における口唇口蓋裂無償手術活動の継続参加。沖縄県内口唇口蓋裂患者家族の会の定期講演主催。感染症関係の講演の受け入れ等多数に及ぶことを実践していきたい。			0.20	2016年もラオス国にて16例の手術を無事行うことができた。		
管理 運営	0.05	各種委員会への参加。さらに、臨床では診療報酬向上を意識し、病院収益に貢献する。			0.05	当科として注力している周術期口腔機能管理を意識的に取り組むことができた。		
臨床	0.40	専門の口唇口蓋裂手術ならびに管理。さらに口腔外科疾患の治療と、口腔ケアに積極的に取り組んでいく。 日本口腔外科学会専門医を取得する。			0.40	口腔外科学会専門医試験を無事終了することができた。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		青山 肇	所 属	医学部附属病院病理診断科	職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.25	1.臨床実習における学生の指導を行う。その際、個々の症例の捉え方を的確かつ丁寧に指導できるように知識の充実を図る。 2.病理診断科に研修に来る初期研修医の指導を行う。その際に組織の顕微鏡的観察だけではなく、肉眼診断の重要性、臨床情報の理解が重要であることを認識させる。 3.医学生および初期研修医に対して、進路決定の参考となるよう病理学・病理診断の実際についての情報を提供する。		0.25	1. 病理部のポリクリ学生に対して、主として生検組織診断症例の指導を行った。またM2/3学生に対して、病理学各論の講義・実習・試験を行った。 2. 病理部の初期研修医6名に対して指導を行った。 3. 平成29年度よりはじまる新専門研修プログラムの策定や公開に携わった。	
研究	0.25	1.外科病理組織を用いた病理学的な研究を確立し、学会発表や論文作成を目指す。 2.後期研修医や初期研修医の学会報告の指導を行う。 3.科学研究費補助金の獲得を目指す。		0.25	1. 共著者として症例報告や学会発表に携わった。 2. 後期研修医の日本病理学会での発表を指導した。 3. 科研費は獲得できなかった。	
社会貢献	0.15	離島を含む県内各病院の病理診断・病理解剖に従事する。		0.15	県立宮古病院を含む県内各病院にて、病理診断・病理解剖ならびにカンファレンスを行った。	
管理運営	0.10	病理診断科の業務が円滑に進むよう、様々な管理業務やミーティングを行う。		0.10	病理部内の業務が円滑に進むよう、様々な管理業務やミーティングを行った。	
診療	0.25	1.大学病院における病理診断業務を行う。 2.臨床各科とのカンファレンスに積極的に参加する。		0.25	1. 大学病院にて病理診断業務を行った。 2. 消化器カンファ・キャンサーボードなどの院内カンファレンスに参加した。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名前		増田 昌人		所属		がんセンター		職名		特命准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.15	治療学(臨床腫瘍学)の分担担当者として、前年の講義終了後のアンケート調査結果を基に、講義内容や講義用スライド等の講義用資料を改善する。研究成果を講義内容に反映するよう努力する。FDに参加する。5年次の指導教官として、学校生活上の問題も含めて、進路指導に当たる。				0.15	昨年の学生の授業終了後の独自のアンケート調査結果を踏まえて、臨床腫瘍学の講義スライド(学生配布用資料も含む)の20%を入れ替えた。厚労省科研費研究班での研究成果、特にがんに関する情報提供とがん医療の質の評価に関して、講義に取り入れて学生に説明した。今年も講義終了後に、講義に関するアンケート調査を行い、次年度の講義の改善のためのデータ収集を行った。保健学科より講義を委託され、臨床腫瘍学の講義を行った。FDに参加した。担任している学生の進路相談を行った。				
研究	0.20	学会での報告発表、学会誌への投稿等を行う。学会評議員等として、学会を通じた研究活動を行う。外部資金を獲得する。国立がん研究センターがん対策情報センター等との共同研究を継続する。				0.25	日本臨床腫瘍学会評議員・学会査読・専門医試験査読/評価、日本造血細胞移植学会評議員・ドナーの安全検討研究WG・ATL研究WG・後期合併症とQOL研究WG、日本がんサポーターケア学会部会調整委員・患者医療職部会委員、日本検査血液学会評議員として学会活動、研究活動に貢献した。外部資金としては、①文科省科研費160万円(代表1件、分担1件)、②厚労省科研費20万円(分担2件)、③公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団研究助成85万円(代表2件)、④公益財団法人笹川記念保健協力財団研究助成50万円(代表1件)、⑤沖縄県受託事業費3,143万円(代表4件)を得た。				
社会貢献	0.20	学外の沖縄県等の審議会や委員会等の委員として参画する。学外の研修会や講演会の企画や講師として参画する。				0.15	厚労省研究班分担研究者として、全国がん登録のガイドライン・マニュアルの改訂やその運用方法策定に関わっている。国立がん研究センターがん登録研修専門家パネル委員として、全国で行われている厚労省委託国がん主催の研修会のカリキュラム作成に携わった。同様にがん登録認定試験検討委員会委員として、認定制度の改革と問題作成等に携わった。(特非)日本がん登録協議会外部監査委員会委員として、都道府県がん登録室の安全管理措置に関する外部監査業務を行っている。沖縄県地域医療構想検討会議委員として地域医療構想に対して、沖縄県がん対策推進計画検討会委員として「沖縄県がん対策推進計画(第2次)」中間評価に対して貢献をした。				
管理運営	0.25	がんセンター長として、がんセンターの運営を行う。都道府県がん診療連携病院の新たな指定要件を満たすために、積極的に病院の各部署に働きかけを行う。沖縄県統括相談支援センター長として、沖縄県統括相談支援センターの運営を行う。附属病院の各種委員会に参加する。				0.25	がんセンター長として、がん診療連携病院の指定要件を満たすために、積極的に病院の各部署に働きかけを行い、意欲的に事業等を行った結果、厚労省から高く評価され、がん診療連携拠点病院機能強化事業費について全国427拠点病院中第10位の予算を得た。沖縄県統括相談支援センター長として、沖縄県からの委託事業を積極的に行った。附属病院の種々の委員会に参加した。				
診療	0.20	外来診療を週1回行う。外来化学療法室での診療を行う。がん診療に関するセカンドオピニオンに対応する。がん診療に関する地域連携クリティカルパスの作成と改定を行う。				0.20	内科外来診療を週1回行い、他科からの紹介に積極的に対応した。がん診療に関するセカンドオピニオンを行った。がん診療に関する地域連携クリティカルパス(胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、肺がん、前立腺がん)を、取りまとめ役として県内の主要病院の現場の責任者と作成・改定を行い、学内に周知した。				
計	1.00	*ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		神谷武志	所 属	医学部 医学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	系統講義において、学生が興味を持って学べるように努める。ポリクリやクリクラでは疾患のみならず、患者様の生活状況や背景についても考慮することの重要性を意識して指導した。		0.20	系統講義では学生が興味を持って参加できるような講義を行った。ポリクリやクリクラでは実際の臨床に即した内容の実習を行った。	
研究	0.30	骨端線の成長を調整する研究を行う。		0.20	骨端線を用いた動物実験を行い、2度(H28.10月、H28.12月)発表を行った。	
社会貢献	0.20	乳児股関節検診のスクリーニングを行う。		0.20	乳児健診の先天性股関節脱臼スクリーニングシステムの運用をH28年4月より開始した。	
管理運営	0.10	リハビリテーション運営委員会、児童虐待対応委員会		0.20	リハビリテーション部副部長として、部の運営に関わり、左記委員会や会議へ参加した(予定)。	
診療	0.20	外来患者診療や院内紹介患者に対応する。		0.20	外来および入院患者の対応に加えて、本年度から開始された乳児股関節検診二次検診へ対応し、また小児痙縮外来を開設した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		新里朋子	所 属		第3内科、リハビリテーション部	職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	心肺運動負荷試験の方法, 評価判定を習得できるよう指導する。学生に心不全講義(心臓リハビリテーション)の講義を行う。臨床実習中に心臓リハビリテーションのミニレクチャーを行い、実際を見学させる。			0.10	学生に心不全講義(心臓リハビリテーション)の講義を行った。4月～7月まで臨床実習中に心臓リハビリテーションのミニレクチャーを行い、実際を見学させた。8月以降は心エコー検査代行(生理検査部医員育休に伴う)のため、医員の先生に学生レクチャー担当をお願いした。		
研究	0.10	・リハビリテーション部の心臓リハビリテーションに従事するコメディカルの学会発表を指導する。学会にて研究発表を行う。			0.10	・リハビリテーション部の心臓リハビリテーションに従事するコメディカルの学会発表を指導した。		
社会貢献	0.20	・心臓リハビリテーションにより, 循環器疾患患者のADL/QOLの改善・維持向上および再発予防に取り組む。 ・動脈硬化疾患に関する市民公開講座等(啓蒙活動)に助力する。			0.15	・心臓リハビリテーションにより, 循環器疾患患者のADL/QOLの改善・維持向上および再発予防に取り組んだ。		
管理運営	0.20	・心臓リハビリテーション部門の多職種連携を推進する。			0.25	・心臓リハビリテーション部門の多職種連携を推進した。		
診療	0.30	・循環器患者に心臓リハビリテーションを行い, 患者のQOL/ADLの改善に取り組む。			0.40	・循環器患者に心臓リハビリテーションを行い, 患者のQOL/ADLの改善に取り組んだ。1. 5日/週の割合で生理検査部の心エコーを代行した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		廣瀬 康行		所 属		附属病院・医療情報部		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.00	・学生指導の担当割当はないので該当しない				0.00	・学生指導の担当割当はないので該当しない				
研究	0.35	・他の研究機関等との委託共同研究等を実施する(厚労省および経産省) ・学会等での報告発表に応募するか、もしくは招待講演等を請け負う				0.35	・他の研究機関等との委託共同研究等を実施した(厚労省および経産省) ・第18回International Congress of Oriental Medicineにて教育講演(招待)を行った				
社会貢献	0.55	・ISO(国際標準機構)TC215 に参画し本邦の国益および世界に貢献する ・ISO(国際標準機構)TC249 に参画し本邦の国益および世界に貢献する ・学外の教育機関において情報リテラシー等の基礎を教授する ・学会での委員会活動を実施する				0.64	・ISO(国際標準機構)TC215 に参画し本邦の国益および世界に貢献した ・上記で特筆すべきは、国際的な準備期間も含め7年間に亘って提案し交渉した ISO/TS 18062 と ISO/TS 16843-1 を出版させるに至った業績である ・ISO(国際標準機構)TC249 に参画し本邦の国益および世界に貢献した ・学外の教育機関()において情報リテラシー等の基礎を教授した ・学会(全日本鍼灸学会、日本東洋医学サミット)での委員会活動を実施した				
管理運営	0.07	・病院ポータルサイトの管理運営の統括 ・院内RAINSの管理運営の統括(総合情報処理センターと協同)				0.01	・以下2件は、いずれも部長職に就いていた5月31日まで: 一 病院ポータルサイトの管理運営の統括した 一 院内RAINSの管理運営の統括した(総合情報処理センターと協同)				
診療等	0.03	・DMAT 研修の参加を試み、もし割り当てられれば参加する				0.00	DMAT 研修の参加を申し込んだが、割り当てられなかったので参加できなかった				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山本 俊成	所 属		医学部 医学科
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.05	・他部署ホームページ作成指導		0.05	・感染対策室にホームページ作成ツールの導入と使い方を説明した ・病院全職員を対象に情報セキュリティ研修会を行い、講師を勤めた
研究	0.30	・国際医療におけるコミュニケーション情報基盤の構築における事前調査		0.30	・台北輔仁大学が開催した国際医療通訳・翻訳実務シンポジウムに参加し情報収集をした ・国立大学病院国際化PTIに関連する遠隔医学教育ネットワークの会議に参加し、国立大学病院の取り組みを調査した
社会 貢献	0.05	・多文化間コミュニケーションのためのリソース提供サイトの構築および事前調査の公開		0.05	・上記収集した情報を近々公開する予定
管理 運営	0.60	<ul style="list-style-type: none"> ・総合情報処理センターと連携しながら院内RAINSを維持運営する ・病院ポータルサイトの管理運営 ・脆弱性検査を実施する ・他部門のネットワーク環境の構築についてアドバイスする ・経営企画室の室長補佐の責務を果たす ・感染対策室室員の責務を果たす ・感染対策実務者会議に参加する ・リスクマネジャー会議に参加する ・病院経営改善に係わるデータ分析を支援する ・経営企画課等と共同で病院指標公表のプロジェクトを立ち上げる 		0.60	<ul style="list-style-type: none"> ・院内RAINSを維持運営しながら、光回線切替とWIFIの増設を計画している ・病院ポータルサイトを移行し、停電対策を施し、管理運営を継続している ・ロボットペーパーくんの設定および開発・管理を行っている ・文部科学省に指摘されたサーバに対して脆弱性検査を実施し、対処を勧告した。該当サーバは稼働していないと確認した。 ・検査部の回線整理とラック移行をアドバイスした ・電子カルテの改修、部門システムの導入・更新等にアドバイザーとして参画した。 ・経営企画室の室長補佐、感染対策室室員の業務に積極的に参加した ・各種委員会・WG、感染対策実務者会議、リスクマネジャー会議等に参加した ・病院経営改善に係わる後発医薬品の数量シェア分析を支援した ・経営企画課等と共同で病院指標公表を果たした ・大学本部のIT戦略室のメンバーになって、会議に参加した ・国立大学病院医療情報部長会議に2回参加した ・西普天間移転についてキャンパスネット等の整備を提言した
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		川妻 由和	所 属	医学部附属病院	職 名	特命准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.60	地域枠学生・地域枠卒業生・その他修学資金貸与生についても可能な限り面談を実施し、本人の意向を尊重したキャリア支援を行う。医学概論(M1前期)講義を行う。M4学生離島地域病院実習・M1地域医療実習・学生企画 地域医療を学ぶための学生セミナー(医学教育企画室主催)、離島医療体験(県主催)にて学生教育および実習指導を分担する。救急部での診療に加えてローテーション中の学生及び医師に指導を行う。		0.60	地域枠学生・地域枠卒業生・その他の修学資金貸与生の大多数に面談を実施し、本人の意向を尊重したキャリア支援を行った。医学概論(M1前期)講義を行った。M4・M3学生離島地域病院実習・M1地域医療実習・学生企画 地域医療を学ぶための学生セミナー(医学教育企画室主催)、離島医療体験(県主催)にて学生教育および実習指導を分担した。救急部での診療に加えてローテーション中の学生及び医師に指導を行った。	
研究	0.10	沖縄県における医師不足状況、医師の地域偏在に関する研究を行う。		0.10	沖縄県における医師不足状況、医師の地域偏在に関する研究を行い、移転整備計画等に反映させた。	
社会 貢献	0.10	関係諸機関と連携し、地域に必要とされる医療の確保に努める。		0.10	関係諸機関と連携し、地域に必要とされる医療の確保に努めた。県医師修学資金貸与者4名の指定医療機関勤務が実現した。	
管理 運営	0.10	沖縄県地域医療支援センター運営委員会(1-2回開催予定)。沖縄県地域医療支援センター委員会(1-2回開催予定)。		0.10	副センター長として沖縄県地域医療支援センターの管理運営並びに、沖縄県地域医療支援センター運営委員会2回、沖縄県地域医療支援センター委員会2回開催した。	
診療	0.10	救急部の診療を週一回担当する。		0.10	救急部の診療を概ね週一回担当した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	仲松 正司		所 属	医学部附属病院 感染対策室		職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	病院実習中のポリクリ学生に定期的に感染制御の講義、実習を行う。		0.30	ポリクリ学生に対してポリクリ直前、ポリクリ中と感染制御の講義。実技実習を行うことが出来た。		
社会 貢献	0.30	地域連携加算を通して2病院の感染対策支援を行う 渡航者やその他希望者へのワクチン接種事業を開始し、病気にならないための予防を支援する。		0.20	地域連携加算を通して2病院の感染対策支援を継続的に行った。 ワクチン外来を開設し渡航者並びにその他の健康管理を開始した。		
診療	0.40	血液培養陽性例を中心に診療支援を継続する 抗菌薬適正使用の更なる充実を目標に周術期抗菌薬マニュアルの 改定や届け出対象抗菌薬の見直しなどを行う		0.50	血液培養陽性例を中心に診療支援をおこなった。 採用抗菌薬の見直し、アウトブレイク事例の対応などを行った。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		堂籠 博	所 属	医学部附属病院	職 名	特命准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	医学生への講義及び臨床修練等での指導を行う。		0.20	医学生への講義を実施した。同時に臨床修練においても適時指導を行った。	
研究	0.20	診療に関連した研究を行う予定である。		0.20	海外での学会活動を行った。国内での学会でもシンポジウムを企画し、座長として当該セッションをまとめる活動を行った。	
社会 貢献	0.20	学会の評議員等での活動を予定している		0.20	評議員としての活動を行った。	
診療	0.40	附属病院での診療活動を行い、特に救急部門のさらなる活性化を目指す。		0.40	救急部での診療を行った。外来症例及び入院症例への対応を行った。入院症例への救急部としての対応のさらなる対応の拡大を図った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		玉城佑一郎	所 属		医学部・医学研究科
			職 名		特命講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.36	学内救急医療講義で救急医療について講義教育する。臨床実習で救急現場において経験させ救急診療やプレゼンテーション力を養う。初期臨床研修医への救急診療教育や医療安全教育を行う。医学部医学科学生の部活や医療ボランティア活動に携わり指導に努める。臨床実習時に地域卒の学生、救急部にローテーションする初期臨床研修医と診療を一緒に行いながら救急診療の重要性を教え指導し、将来この分野を専門とする医師または救急医療に関わる医師の育成に努める。		0.12	初期研修医や医学部学生への教育やシステムの構築を行うようにしていたが、勤務態勢上、人手が足りなく昨年のようにいかず、目標に達する事が出来なかった。
研究	0.06	救急科に受診した症例を起こして学会発表や論文報告をしていくようにする。		0.00	救急勤務態勢から積極的に行けず、今年は物理的に無理で目標に達せず。
社会 貢献	0.08	アメリカ心臓協会による心肺蘇生講習のトレーニングサイトに関わったり、各スポーツイベントの医療に携わったりしながら医療従事者や市民に対し救急医療を生かしていく。消防職員と共に災害訓練を行っていく。		0.03	救急勤務態勢から積極的に行けず、今年は物理的に無理で目標に達せず。
管理 運営	0.20	診療報酬も変わった事や救急応援医師数も増加した為、昨年と比較し救急外来での対策を考察し、医局会で問題点を挙げながら管理運営に関わっていく。中期計画も立てたため、それに沿った実績を上げていく。		0.20	第3期中期計画に乗った統計処理や問題点を挙げ、専門医制度を考慮しつつ来年につなげる方針を立てた。増加した救急医師であったはずが、年末にかけて辞職により激務となり、出向医師の調整も入った事から勤務調整や目標達成が一段と困難となった。しかし、医療支援課との話し合いで救急加算や様々な救急収益に関する取り組みを行なった。
診療	0.30	救急車患者受診数を増やし病院収益に貢献していく、医局員の入局に関わっていく。		0.65	各消防職員と勉強会や話し合いを行い救急車台数の増加や、救急受け入れを断らず応受率の増加に取り組んだ。またそれに伴い救急入院患者数増加や上記に挙げた加算を取る事で収益に貢献した。また大学構内に救急ヘリ離着陸が可能となり救命センター化に向けて一歩を踏み出す事が出来るようになった。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		古波蔵健太郎	所 属		医学部附属病院血液浄化療法部
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.20	昨年、大幅に見直した腎疾患の授業内容をブラッシュアップする。PBLに沿った視点を各講義にとりいれ実践的な内容にしていく。学生、研修医教育スキルの向上、医員に対する専門医教育の充実(系統だったカリキュラムの整備、教育手法の確立)と臨床研究指導、大学院生の研究指導を行う		0.20	授業で使用する資料の見直し、医員に対する専門医教育のための資料作成、ミニレクチャー、最新の情報提供などを行った。PBL形式の実践的な授業をスタートさせた。大学院生の論文作成のサポートや臨床研究のテーマを決めて開始することができた。学会や県内外の講演会を通じて専門領域の教育を行った。
研究	0.30	慢性腎臓病、心血管病、メタボリック症候群の相互連関に関して高尿酸血症、C3、細動脈症炎症とCKD、高血圧の相互作用に着目した臨床研究、RAの心血管病、腎障害進展因子に関する臨床研究、尿酸降下薬を用いた前向き研究、AMEDに関連したIgA腎症の研究、腎硬化症の共同研究などを進める。その他、臨床研究の論文投稿を進めていく。当施設ならびに関連施設の症例を登録してコホートスタディを開始する。		0.30	尿酸関連、腎内細動脈関連、慢性腎臓病と炎症の相互関連、高齢者における低Na血症と予後との関連に関する研究を行い学会、論文発表等を行った。AMEDに関連したIgA腎症の研究、腎硬化症の共同研究などを進めた。尿酸降下薬の前向き介入研究を開始した。
社会 貢献	0.10	地区医師会、栄養士会、企業の保健士、地域住民むけの講演会を行う。南城市のCKD対策事業を立ち上げ、High risk population-based approachで透析患者抑制を目指す。		0.10	地域向けの様々な講演会を通じて啓発活動を行った。県のライフスタイルノベーション事業に関連した産学連携事業を行った。南城市でのCKD対策事業を開始した。沖縄県の保健事業評価、糖尿病性腎症重症化予防事業の委員を務め沖縄県の保健医療事業のサポートを行った。
管理 運営	0.20	血液浄化療法部スタッフならびに第三内科腎グループの医員を統括し、個々の特徴に目を向けた個別目標とグループ全体としての臨床および研究の目標設定およびその達成に向けて努力する。ワークライフバランスに配慮した組織運営を目指す。血液浄化療法部において中央診療部としての安全性、サービス向上を目指した管理運営を進める。		0.20	血液浄化療法部スタッフならびに第三内科腎グループの医員を統括し、個々の特徴に目を向けた個別目標とグループ全体としての臨床および研究の目標設定およびその達成に向けた支援を行った。ワークライフバランスに配慮した組織運営を実践した。血液浄化療法部において中央診療部としての安全性、サービス向上を目指して、チームによる定例ミーティングを開始した。
診療	0.20	腎Gをサブグループに分けて効果的かつ効率よく診療できる体制を整える。個々の患者の病態に基づいて個別化医療をチームで取り組む。包括的な腎代替療法を提供できるような体制を強化していく。		0.20	腎Gをサブグループに分けて効果的かつ効率よく診療できる体制を整えた。これまでに培ったグループのノウハウを共有化することで診療の標準化、効率化を図る取り組みを始めた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山城 剛	所 属	検査・輸血部	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.15	琉球大学医学部学生、研修医に対して、血液製剤の適正使用に関する知識と副作用の知識、対処法に関して教育を行う。		0.20	琉球大学医学部学生に対しては血液製剤の種類、使用目的、保存条件、使用期限など基本的な知識について、研修医に対しては血液製剤適正使用、副作用に関する知識、対処法に関して教育を行った。	
研究	0.15	・tetrahydrocurcumin含有食品の非アルコール性脂肪性肝炎に対する臨床効果の評価(論文作成)・French national reference laboratoryとのD型肝炎に関する国際共同研究(サンプル収集)		0.05	French national reference laboratory とのD型肝炎に関する国際共同研究ではHDV感染者の血清サンプル収集中である。	
社会貢献	0.20	日本肝臓学会専門医、指導医として沖縄中部地域の肝臓病患者の診療にあたる。消化管内視鏡検査は消化器癌の早期発見に重要な検査であるが、沖縄県は需要に対する内視鏡専門医の絶対数が少ない。地域病院の要請に応じ、消化管内視鏡専門医として社会貢献を行う。		0.20	日本肝臓学会専門医、指導医として沖縄中部地域の肝臓病患者の診療を行った。地域病院の要請に応じ、消化管内視鏡専門医として消化器癌の早期発見のため、下部内視鏡検査を行った。	
管理運営	0.50	琉球大学医学部附属病院検査・輸血部教官として輸血検査室業務の処理を行う。		0.55	琉球大学医学部附属病院検査・輸血部講師として、輸血業務の管理、検体検査部門全般の管理・運営に携わった。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		外間 昭	所 属		附属病院 光学医療診療部	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.10	系統講義、病棟回診補佐、研修医への診療指導、内視鏡担当医への技術指導を行う。			0.20	系統講義、病棟回診補佐、研修医への診療指導、内視鏡担当医への技術指導を行った。		
研究	0.25	英文原著 1報、英文症例報告・短報 3報の採択及び科研費の採択を目指す。			0.20	英文原著 1報と邦文依頼原稿4報を責任著者として記した。英文原著 2報と邦文原著4報に共著者として参画した。		
社会貢献	0.05	消化器・肝臓に関する市民公開講座を開催する。欧米学会雑誌から依頼される論文の査読を行う。			0.05	消化器・肝臓に関する市民公開講座を開催した。消化器関連学会の座長を3回務めた。欧米学会雑誌から依頼された論文の査読20件を行った。		
管理運営	0.10	大学院生の指導を行い、年度内の学位論文の採択と学位取得を目指す。			0.15	大学院生の指導を行い、年度内に2名の学位取得を達成した。		
診療	0.50	外来診療(週1日)、内視鏡検査(週3日)と入院患者回診を継続する。			0.40	外来診療(週1日)、内視鏡検査(週3日)と入院患者回診を継続した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		金城 徹	所 属		琉球大学医学部附属病院 光学医療診療部	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.25	医学部学生への臨床講義を3コマ担当する。医学科実習生や研修医には消化器病学の一般臨床を中心に教育し、当医局に入局した後期研修医や消化器病・消化器内視鏡専門医をめざす医師に対しては消化器病学以外に内視鏡の知識や技術を含め全般的に指導を行う。また、前記対象者(実習生以外)に消化器病関連学会における発表の指導を行う。		0.25	医学部学生への臨床講義を3コマ担当した。医学科実習生や研修医には消化器病学の一般臨床を中心に教育し、当医局に入局した後期研修医や消化器病・消化器内視鏡専門医をめざす医師に対しては消化器病学以外に内視鏡の知識や技術を含め全般的に指導を行った。また、前記対象者(実習生以外)に消化器病関連学会における発表の指導も行った。			
研究	0.25	難病に該当する炎症性腸疾患患者が多く通院する当院において、沖縄県における炎症性腸疾患の疫学的背景や臨床所見(消化器内視鏡所見)をまとめ、治療方針決定における消化器内視鏡の役割を明確にする。		0.25	難病に該当する炎症性腸疾患患者が多く通院する当院において、患者背景や臨床所見(消化器内視鏡所見)、投与薬剤血中濃度などをまとめ、治療方針決定につなげていることを学会報告した。			
社会 貢献	0.10	班会議における臨床研究に積極的に参加し、臨床消化器病における概念や治療方針決定などに貢献できるようにする。		0.10	炎症性腸疾患関連の臨床研究や内視鏡関連の多施設共同研究に積極的に参加し、臨床消化器病における概念や治療方針決定などに貢献できるようにした。			
管理 運営	0.10	日々の内視鏡業務が円滑に行えるように、検査前日や当日に担当医師や看護師と密に連携し、内視鏡業務運営を行っている。また、月1回の光学医療部小委員会にも参加している。		0.10	日々の内視鏡業務が円滑に行えるように、検査前日や当日に担当医師や看護師と密に連携し、内視鏡業務運営を行った。また、月1回の光学医療部小委員会にも参加している。			
診療	0.30	外来業務を週1コマを周年で行っている。特に炎症性腸疾患の治療(生物学的製剤の導入など)や早期消化器癌の内視鏡治療(早期食道癌・胃癌・大腸癌の内視鏡的粘膜下層剥離術)を中心に診療を行っている。内視鏡治療においては年間20例以上を目標としている。		0.30	外来業務を週1コマを周年で行っている。特に炎症性腸疾患の治療(生物学的製剤の導入など)や早期消化器癌の内視鏡治療(早期食道癌・胃癌・大腸癌の内視鏡的粘膜下層剥離術)を中心に診療を行った。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		合志 清隆	所 属	高気圧治療部	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	高気圧医学の教育(学生:講義教育と臨床教育、医師:臨床教育) 適正な指導(学生の履修状況の確認、学生が不安に感ずる事項への対処)		0.20	概ね達成できた。	
研究	0.10	フィールド調査(沖縄県の職業性ダイバーにおける減圧障害の実態と勤務状態を調べる)		0.10	概ね達成できた。	
社会貢献	0.10	潜水ないし潜函作業への協力(沖縄県の潜水作業と潜函作業において、大臣審査に必要とされる有識者による作業者の指導、事故時の救急対処、その後の安全教育の実施)		0.10	概ね達成できた。	
管理運営	0.10	事故防止で職員教育(専門学会の安全対策で決められている高気圧酸素の関する事故防止を毎日実施。院内マニュアルの職員周知)		0.10	概ね達成できた。	
診療	0.50	診療実績の向上(年3,000~4,500件の治療実績から、年6,500~6,900件と国内トップの実績を誇るまでになった。診療収入は3~5倍に上昇した。重症患者の受け入れを近隣の救急病院から行っており、専門診療での病院連携を構築している。新治療の推進)		0.50	概ね達成できた。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前		久田友治		所 属	医学部 附属病院 手術部	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	【M5】通年での手術部実習:手術時手洗い, 標準予防策(静脈針留置、針刺し対策を含む), シミュレーターを用いた医療機器の操作などの実習を行う。おきなわシミュレーションセンターも利用する。総合講義。【M4】医療学総論, 【手術部看護師および臨床工学技士】実務と臨床研究について教育する。【臨床工学技士】委託された外部の臨床工学科の学生実習を行なう。		0.30	【M5】おきなわシミュレーションセンターで通年での手術部実習を実施した。手術医学・手術医療についての総合講義を行なった。【M4】医療学総論の講義で手術部の紹介と手術時手洗いについて講義した, 【手術部看護師および臨床工学技士】実務と臨床研究について指導した。		
研究	0.30	日本手術医学会の2016年沖縄開催に向けて準備する。著書の分担執筆:「手術治療学」, 論文投稿:「手術の稼働に影響を及ぼす職員数の検討」, 学会報告:「手術部における安全管理の現状と課題」(日本外科学会), 「医学生を対象に 医療機器の安全使用の為に実施したシミュレーション教育の評価」(日本医療機器学会)「会長講演」(日本手術医学会)。学部横断的に25年12月に組織した琉球大学ラオス研究会を継続する。		0.35	第38回日本手術医学会を11月4-5日に沖縄コンベンションセンターで開催した。著書の分担執筆:「手術治療学」, 論文投稿:「医学生を対象に 医療機器の安全使用の為に実施したシミュレーション教育の意義」(医療の質・安全学会誌), 学会報告:「手術部における安全管理の現状と課題」(日本外科学会), 「会長講演」(日本手術医学会)。学部横断的な第4回琉球大学ラオス研究会が開催された(会長 法文学部鈴木教授)		
社会 貢献	0.05	社会保険診療報酬請求審査委員会委員。地域医療振興会の”ゆいまーるプロジェクト”(県内離島医療機関の支援)で、是まで3回代診の実績があり、今後も依頼があれば行なう。		0.05	社会保険診療報酬請求審査委員会委員。		
管理 運営	0.35	手術部管理:安全で円滑な手術部運営に努め、特に効率化を進めて経営改善を図る。安全管理対策室における分析担当者としての役割を果たす。保険診療委員会とDPC委員会の委員として病院経営に資する。全国国立大学附属病院手術部会議の3回の幹事会, 11月の本会議。		0.30	手術部管理:安全で円滑な手術部運営に努め、特に効率化を進めて経営改善を図った。安全管理対策室における分析担当者, 保険診療委員会とDPC委員会の委員等の役割を果たした。全国国立大学附属病院手術部会議の幹事として勤めた。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		大城 匡勝	所 属		医学部附属病院 手術部	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	医学部での系統講義ならびにM5、M6への病院臨床実習における指導を行う。初期研修医に対してはマンツーマンにて術前回診から術後回診までを系統的に指導を行い麻酔学を通じて医師としての基本的なあり方を習得させるようにする。後期研修医に対しては麻酔学総論から各論までを日々の症例を通じて系統的に学習できる環境を構築し、その実践をサポートする。			0.30	医学部での系統講義ならびにM5、M6への病院臨床実習における指導を行った。初期研修医に対してはマンツーマンにて術前回診から術後回診までを系統的に指導を行った。後期研修医に対しては麻酔学総論から各論までを日々の症例を通じて系統的に学習できる環境を構築し、その実践をサポートした。		
研究	0.15	後期研修医と共に臨床で得られた新たな知見をもとに学術集会、学術誌等で発表を行い、論文作成のサポートを行う。			0.15	後期研修医と共に臨床で得られた新たな知見をもとに学術集会にて発表を行わせ、論文作成のサポートを行った。		
社会 貢献	0.20	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。			0.20	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。		
管理 運営	0.25	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行う。			0.25	手術室の効率的運営を行えるよう、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行った。		
診療	0.10	附属病院手術室にて業務に専従し、手術を受ける患者に対して安全で高度な医療を提供しつつ術後の回復をサポートする。			0.10	附属病院手術室にて業務に専従し、手術を受ける患者に対して安全で高度な医療を提供し、術後の回復をサポートした。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		野口 信弘	所 属		医学部附属病院 麻酔科(手術部)	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。ポリクリ実習学生に対し、当科の役割や面白さを伝え実習指導を行なう。学生および研修医に対し、今後の進路に関する情報を与え指導を行う。			0.20	ポリクリ実習、臨床研修に際しては、実際に参加させ実習、研修に興味を持たせるように行った。また後期研修医、学生への講義をスライド作成に工夫を行い興味を持てる様に行った。		
研究	0.20	臨床研究および基礎研究を通して、医学・医療の発展に貢献できる結果を学会および論文として公表する。			0.20	症例報告の学会発表、学術誌への投稿の指導を行った。また臨床研究の企画、立案を指導をし、倫理委員会に出席した。		
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。			0.10	地域の関連施設での麻酔指導及び教育を行った。		
管理運営	0.30	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行う。また医局長として医局長会議に、リスクマネージャーとして医療安全に関する各種会議に参加し医療安全に貢献する。輸血療法委員、医療ガス責任者として各種委員会に出席する。			0.20	週間手術予定の作成を行い手術室看護師や外科系医師との調整を行い効率的な手術室運営を行うことができた。リスクマネージャーとして医療安全に関する各種会議等に参加し医療安全に貢献した。		
診療	0.20	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。			0.30	手術室の効率的運営により、昨年より手術数の増加を図ることができた。また、安全に手術麻酔を施行し、大きな問題なく施行できた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		西 啓亨	所 属	医学部附属病院 手術部	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理についてエビデンスを示しながら指導する。手技に関するシミュレーション教育・周術期管理に関する教育を積極的に行う。		0.20	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、手技に関するシミュレーション教育を目標通り行った。また理論的裏付けを得られるように、文献などを提示しながら指導を行った。	
研究	0.20	凝固障害・局所麻酔薬など麻酔関連の臨床研究を計画・実施する。シグナル伝達に関する基礎研究を継続するに努める。また、その結果を学術集会、学術誌等で発表を行う。		0.10	研究に関しては、継続中で結果発表までには至っていない。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	ほぼ目標通り達成した。今年度中に海外医療支援活動にも参加予定である。	
管理運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行う。併せて、物品管理も行い、コスト削減に努める。		0.20	ほぼ目標通り達成した。	
診療	0.30	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、安全に周術期管理を行う。		0.40	ほぼ目標通り達成した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		正本 仁	所 属	医学部附属病院 周産母子センター	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	近年の周産期・生殖医学の学術的・技術的発展、医療的倫理を反映した講義を行う(例:出生前診断、胎児治療、他診療科と連携した周産期管理等における新しい知識、技術、考え方の紹介)。		0.20	左記の項目に関する講義の中で、臨床例を示して知識を啓発し、その分野の学術的発展と今後の課題・問題点についても提示した。それらに関する医療倫理的問題についても提示した。他科と連携した診断・治療例を提示した。	
研究	0.20	英文学術論文を1編以上作成し、学術雑誌への採用を目指す。当科で経験した前置癒着胎盤例の診断および治療に関する知見や成績、胎児異常の出生前診断に関する知見を学会、ワークショップなどで対外的に発信する。比較的立ち遅れている周産期関係の臨床研究を発展させる。		0.20	Corresponding authorとして妊娠中の子宮血管腫の診断と治療法について英文論文を作成、査読ありの国際学術雑誌に掲載された。胎児異常例の超音波、MRIを用いた出生前診断に関する複数の知見を2つの全国学会で発表し支持的意見を得た。周産期関係の臨床研究1題を申請した。	
社会貢献	0.10	研究、診療、学会活動を通じて得た医学的知識、経験を公開講座などを通して提供し、県民の健康向上に貢献する。昨年度母体救命システム普及協議会認定のインストラクターを取得した。実技セミナー開催を通して妊産婦母体救命に関する実技を普及する。		0.10	沖縄産婦人科学会雑誌のreviewerとして他施設医師の論文査読を通し医学知識の啓発をはかった。母体救命システム普及協議会認定のインストラクターとして妊産婦母体救命講習会を主催し、全国から募集した産科医、助産師、看護師に実技指導した。	
管理運営	0.20	医師キャリア支援センターの副センター長に就任しており、充実した研修プログラムの運営にあたる。地域周産期センターである当周産母子センターの部長として、臨床研究および診療の充足に努める。		0.20	医師キャリア支援センター副センター長として、県内の指導医講習会を主催した。周産母子センターセンター長として診療体制の充足に努めた。周産母子センターの年間実績についてまとめ、周産期新生児学会へ報告した。	
診療	0.30	周産母子センターにおける合併症妊娠例に関し、他科と連携した産科		0.30	当周産母子センターの総分娩数、出生児数はここ10年間で3番目の件数で、帝王切開数は最多であった。周産期死亡率はここ10年で最少。母体搬送受入数は41件/年。合併症妊娠症例数は昨年と同等。特に精神疾患合併妊娠例、妊娠糖尿病例が昨年同様に多く、精神科や内科と連携した治療を多く経験した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田朝秀	所 属		医学部附属病院周産母子センター	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	学部担当科目(未熟児新生児)を担当し、系統講義、臨床クラークシップ医学生に対してベッドサイドティーチング等を行う。初期研修、後期研修医のへの研修指導、シミュレーション教育を行なう。			0.20	系統講義、クリクラ学生に対してベッドサイドティーチング等を行った。初期研修、後期研修医のへの研修指導を行った。研修医対象のシミュレーション教育の講師を務めた。研修医、学生の小児医療、周産期医療への関心喚起のため説明会を開催した。新しい専門医制度の小児科学会としての啓蒙やプログラム作成に従事した。		
研究	0.20	新生児医療に関する学会活動、研究論文の投稿を行う。スタッフの学会参加や研究発表を支援する。			0.20	周産期新生児学会に研究内容を発表した。、沖縄小児科学会、沖縄新生児研究会等へ参加し、研修医の学会発表を支援した。		
社会 貢献	0.10	南部地区周産期ネットワーク活動を通して地域の周産期医療の充実に貢献する。継続して新生児蘇生法のインストラクターとして普及活動に従事する。小児保健協会等の公益に関わる団体の理事として活動する。			0.10	沖縄県周産期ネットワーク協議会委員として『周産期情報共有システム』を運用させている。新生児蘇生法インストラクターとして活動した。小児保健協会、医師会学校医部会、小児科医会の理事として活動した。		
管理 運営	0.10	医局長会議、周産母子センター運営委員会、その他の会議に参加する。			0.20	集中治療部、周産母子センター、輸血療法委員会、保険診療委員会、脳死判定委員会WG、虐待対応委員WG、交通対策委員会など病院運営等に関わる会議に参加した。		
診療	0.40	附属病院での診療を通して健康維持に貢献し未熟児医療の改善を目指す。市中病院、乳児健診を通して情報の収集と診療技術の向上をめざす。			0.30	周産母子センターで未熟児新生児医療に従事した。市中での救急診療、乳児健診に従事した。予防接種施行などに際してアドバイス、講義を行うなど貢献した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		呉屋英樹	所 属		医学部 小児科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.20	医学部での講義、学生実習での指導など		0.30	人形を使用した蘇生実習や講義など施行			
研究	0.20	臨床研究やそれに基づいた論文発表、学会発表など		0.10	学会発表はしたが研究はできなかった。			
社会 貢献	0.10	講演活動や院外での講義など		0.00	ほとんどなし			
管理 運営	0.10	外来医長業務、リスクマネージャー業務など		0.20	外来医長、リスクマネージャー業務を通常通り施行した			
診療	0.40	日常の病棟や外来業務		0.40	日常業務や外来業務を施行した			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		銘苺 桂子	所 属	医学部 医学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.20	1. 講義/チュートリアルの充実(学生自身が考えて理解するスタイルへ) 2. 県医師会女性医師部会と合同で医学生に向けてキャリアプラン講義を行う 3. 生殖医療専門医の育成 4. 腹腔鏡技術認定医の育成 5. 研修医、後輩医師の教育、学会発表論文投稿の指導 6. 胚培養士の育成		0.20	1. 講義/チュートリアルを充実させた。 2. 県医師会女性医師部会と合同で医学生に向けてキャリアプラン講義を行った。 3. 生殖医療専門医の育成を行った。 4. 腹腔鏡技術認定医の育成を行った。 5. 研修医、後輩医師の教育、学会発表論文投稿の指導を行った。 6. 胚培養士の育成を行った。	
研究	0.25	1. 科学研究費補助金による研究の実施 2. 学会誌への投稿、発表 3. 国際・国内学会での発表		0.25	1. 科学研究費補助金による研究を行った。 2. 学会誌への投稿、発表を行った。 3. 国内学会での発表を行った。	
社会 貢献	0.05	1. 県医師会女性医師部会委員としての活動 3. 学外での産婦人科疾患の啓蒙(啓発)活動 4. 日本産科婦人科内視鏡学会幹事、日本生殖医学会代議員としての参画		0.05	1. 若年がん患者に対して妊孕性温存療法を啓発するため、沖縄がんと生殖医療ネットワークをたちあげた 2. 県医師会女性医師部会委員として病院長懇談会を開催した。 3. 学外での産婦人科疾患の啓蒙(啓発)活動として映画上映会を行った。 4. 日本産科婦人科内視鏡学会幹事、日本生殖医学会代議員としての参画した	
管理 運営	0.05	1. 学部内委員会出席 2. 体外受精・胚移植施行施設としての学会への報告・管理 3. 日本生殖医学会専門医認定施設としての学会への報告・管理 3. 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定施設としての学会への報告・管理 4. 副医局長としての活動		0.10	1. 体外受精・胚移植施行施設としての学会への報告・管理を行った。 2. 日本生殖医学会専門医認定施設としての学会への報告・管理を行った。 3. 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定施設としての学会への報告・管理を行った。 4. 副医局長としての活動を行った。 5. 学部内委員として活動した。	
診療	0.45	1. 安全に十分配慮した医療 2. 患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療 3. 生殖・内分泌治療成績の向上 4. 腹腔鏡下手術件数の増加 5. 腹腔鏡手術適応症例の拡大(悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術を安全に行う)		0.40	1. 安全に十分配慮した医療を行った。 2. 患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療を行った。 3. 生殖・内分泌治療成績の向上を認めた。 4. 安全な腹腔鏡下手術を行った。 5. 若年がん患者に対して妊孕性温存療法を開始した。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		淵上 竜也	所 属	附属病院集中治療部	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.25	学生・研修医・看護職員を対象に、院内最重症例を収容するICUスタッフを指導・養成するために呼吸・循環・代謝といった重要臓器の臓器障害の診療に関する知識・技術の教育を行う。人工呼吸や持続透析など生命維持装置の取り扱いを含む医療安全の啓蒙をおこなう。麻酔・集中治療領域の専門家を目指す学生、研修医、看護師に対し最適な進路選択ができるように教室のもつ研修関連施設にとどまらない情報提供を行う。		0.25	学生・研修医・看護職員を対象に、院内最重症例を収容するICUスタッフを指導・養成するために呼吸・循環・代謝といった重要臓器の臓器障害の診療に関する知識・技術の教育を行う。人工呼吸や持続透析など生命維持装置の取り扱いを含む医療安全の啓蒙をおこなう。麻酔・集中治療領域の専門家を目指す学生、研修医、看護師に対し最適な進路選択ができるように教室のもつ研修関連施設にとどまらない情報提供を行った。	
研究	0.15	当院集中治療部におけるPMX-DHPの敗血症治療への有効性を新たに提唱された敗血症診断基準を用いて検証する。また新しい人工呼吸モード(適応補助換気)を用いた術後人工呼吸管理に関する研究を継続し当該学会での発表や論文作成を行う。		0.15	当院集中治療部におけるPMX-DHPの敗血症治療への有効性を新たに提唱された敗血症診断基準を用いて検証し一部を関連学会で報告した。また新しい人工呼吸モード(適応補助換気)を用いた術後人工呼吸管理に関する研究を継続し論文を作成、関連学会機関誌に掲載された。	
社会 貢献	0.20	県下の麻酔科医不足の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に講演する。		0.15	県下の麻酔科医不足の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献した。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に講演した。	
管理 運営	0.10	部署リスクマネージャー(ICU)、医療機器安全管理委員会、輸血療法委員会等院内各種委員会の活動に貢献する。ME副センター長の職責を果たす。		0.15	部署リスクマネージャー(ICU)、医療機器安全管理委員会、輸血療法委員会等院内各種委員会の活動に貢献した。ME副センター長を兼任した。	
診療	0.30	院内の手術麻酔、集中治療に従事し安全な周術期管理に貢献する。県内唯一の大学病院の集中治療室として補助人工心臓植込みやTAVIの周術期管理など先進・高度で専門性の高い診療を行う。		0.30	院内の手術麻酔、集中治療に従事し安全な周術期管理に貢献する。県内唯一の大学病院の集中治療室として補助人工心臓植込みやTAVIの周術期管理など先進・高度で専門性の高い診療を行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	武村 克哉		所 属	医学部附属病院地域医療部	
職 名			講 師		
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義の計画・実施 医学科4年次医療面接講義・実習の計画・実施 医学科4-5年次地域医療臨床実習の計画・実施 研修医に対するプライマリ・ケア教育の計画・実施 臨床研修指導医に対する講習の計画・実施 地域医療・総合診療に関心のある学生の支援 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> 卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義(医学科3年次地域医療/プライマリ・ケア講義8コマ)の計画・実施、医学科4年次医療面接講義・実習の計画・実施、通年の医学科4-5年次地域医療臨床実習の計画・実施、総合診療センター外来での学生教育、研修医に対するシミュレーショントレーニングの実施、臨床研修指導医養成セミナーでの講習を実施した。
研究	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療・総合診療に関する研究、学会発表 臨床研修指導医養成の評価に関する研究、学会誌への投稿 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ハワイ沖縄医学教育フェローシップの取り組みにつき、第4回国際Faculty development学会(2017年8月)に共同発表者として演題提出した。
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県委託事業「健康行動実践モデル事業」ワーキンググループへの参画 沖縄プライマリ・ケア研究会への参画(幹事担当) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会講習会(2017年2月開催)準備会参画 九州地域医療研究会への参画(世話人担当) 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県委託事業「健康行動実践モデル事業」ワーキンググループ員を担当した。 沖縄プライマリ・ケア研究会の幹事を担当した。 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会講習会(2017年2月)開催準備に参画した。
管理 運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 琉球大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム統括責任者として、総合診療専門研修プログラム作成・広報・専攻医募集を行う。 琉球大学第3期中期計画No.36実施担当者として、在宅医療推進センター設立準備を行う。 琉球大学医学部附属病院医師キャリア支援センター員、初期臨床研修先島プログラム「美ぎ島」責任者として、研修プログラム・地域保健医療研修を調整する。 総合診療センター運営協議会委員として、総合診療センター外来の運営調整を行う。 琉球大学医学部医学教育企画室員として、離島地域病院実習、地域医療を学ぶための学生セミナーに対する支援を行う。 琉球大学医学部医学教育連絡主任として地域医療臨床実習の連絡調整を行う。 共用試験医学系OSCE「医療面接」責任者を担当し、OSCE・BPEの運営調整を行う。 リスクマネジャー連絡会議委員として、会議への出席、リスク管理を行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 琉球大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム統括責任者として、総合診療専門研修プログラム作成し、日本専門医機構に提出した。琉球大学第3期中期計画No.36実施担当者として、在宅医療推進センター設立準備を行なった。琉球大学医学部附属病院総合臨床研修・教育センター(旧医師キャリア支援センター)員、初期臨床研修先島プログラム「美ぎ島」責任者、地域医療研修担当者として、定例ミーティングに参加し、「美ぎ島」プログラムの調整、共通研修カリキュラム・地域医療研修の調整を行なった。指導医養成セミナーにてタスクフォースを担当した。琉球大学医学部医学教育企画室員として、「地域医療を学ぶためのPBL」の企画・実施、医学科4年次・3年次離島地域病院実習にて久米島病院実習担当、地域医療を学ぶための学生セミナーにて久米島班を担当した。琉球大学医学部医学教育連絡主任、総合診療センター運営協議会委員、リスクマネジャー連絡会議委員、琉球大学医学部附属病院クリニカル・シミュレーションセンター事業推進委員会委員として会議に参加した。共用試験医学系OSCE「医療面接」ステーション責任者を担当し、医療面接実習のための模擬患者を育成・評価者講習・ステーション運営を行なった。ハワイ沖縄医学教育フェローシップ実行委員として、同プログラムの実施調整を行った。
診療	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療センターにおける外来診療(週5回) 総合診療センターにおける禁煙外来(週2回) 救急部診療応援(月1回) 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療センター外来における外来診療(週5回)、禁煙外来(週2回)を行った。 救急部診療応援(月1回)を継続した。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平安名常一	所 属		医学部附属病院 放射線部	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.25	①放射線治療、及び、IVRの適応疾患を理解させる。②放射線治療、及び、IVRの基礎・応用を指導する。③学生が放射線治療、IVRに参加希望をする場合には可能な限り参加型教育として支援する。			0.25	①、②、③のいずれも達成できた。		
研究	0.30	①頭頸部を含めた悪性腫瘍に対する動注化学放射線療法の症例を蓄積し、短期・中期成績を報告する。②治療後の再発症例に対する緩和的治療の症例を蓄積し、その有効性・安全性の短期・中期成績を報告する。			0.30	①、②のいずれも達成できた。		
社会 貢献	0.05	放射線治療、及び、IVRによる根治治療のみだけでなく、それらを用いた緩和治療の情報を講演などにて伝えていく。			0.05	講演会、研究会などで発表を達成できた。		
管理 運営	0.10	放射線部の運営のみだけでなく、FIMACにおけるPET運営にも協力して確実な軌道にのせる事を目指す。			0.10	達成可能であった。		
診療	0.30	外来診療を円滑に行い、放射線部での収益をより高める方向で検討していく。			0.30	達成できた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		池原 由美	所 属		医学部附属病院 臨床研究教育管理センター	職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決型高度医療人材養成事業の一環であるフェロースhipおよびワークショップ等の運営支援をおこない、円滑にプログラムが進行し、受講者が学習目標を達成するための支援を行う 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> センターが支援するフェロースhipコース及びワークショップの運営支援と共に、参加者の研究実施に必要な指導・支援を行った 9月より毎月定例の臨床研究の勉強会を開催し、学内外の研究者の教育に努めた 学会での座長、基調講演、他大学での講演会を通して教育活動を行った 		
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 多施設共同臨床試験における品質管理手法について、(特にセントラルモニタリングを最大限に活用したオンサイトモニタリングのあり方を中心に研究を継続する 地方大学における最小人員での医師主導治験の実施に必要なプロジェクトマネジメント手法の検討を行い標準化を図る 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果を日本心臓病学会、日本臨床薬理学会、日本臨床試験学会において発表した プロジェクトマネジメントは実践しているが、標準化には至っていない 		
社会 貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> CRCと臨床試験のあり方を考える会議のプログラム委員として、充実したプログラムを提供することで人材育成に貢献する 県内のCRCおよび研究支援者の勉強会を継続することで、沖縄県内の研究支援者の人材育成および共同研究をしやすい体制作りに貢献する 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> CRCと臨床試験のあり方を考える会議のプログラム委員、県内CRCの勉強会の開催を通して社会貢献を行った 製薬企業及びアカデミアの有志による臨床研究のハンドブックの編集委員として組織を超えた社会貢献を行っている 		
管理 運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研究教育管理センターのデータセンター機能を強化する(手順書等実施体制の整備・EDCの本格運用) 指針に準拠した研究管理が学内において徹底できるよう、研究推進課の支援を行う 学外受託試験および学内試験が増加する中でのモニタリングのマネジメント徹底 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> 研究推進課を支援し、審査委員会の迅速審査体制の整備及び研究者の自己チェック体制の基盤整備を行った。 臨床研究関連の各種規程手順書、規定の改訂に関して研究推進課を支援した 複数の試験のマネジメントを円滑に行っている データセンターの機能強化は当初の目標より若干遅れてはいるが、着実に整備を進めている。 		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	